NEO ZEON MSN-04 MOBILE SUIT SAZABI "Ver.Ka"

SPECIFICATION / MODEL NUMBER:MSN-04, HEIGHT:23.0m, WEIGHT:30.5t, MATERIAL:GUNDARIUM ALLOY
ARMAMENTS / DIFFUSE MEGA PARTICLE CANNON×1, BEAM SHOT RIFLE×1, BEAM TOMAHAWK×1, BEAM SABER×2, SHIELD(MISSILE×3)×1, FUNNEL×6, LONG RIFLE×1

CONSTRUCTOR:ANAHEIM ELECTRONICS



MG MASTER GRADE Ver.Ka

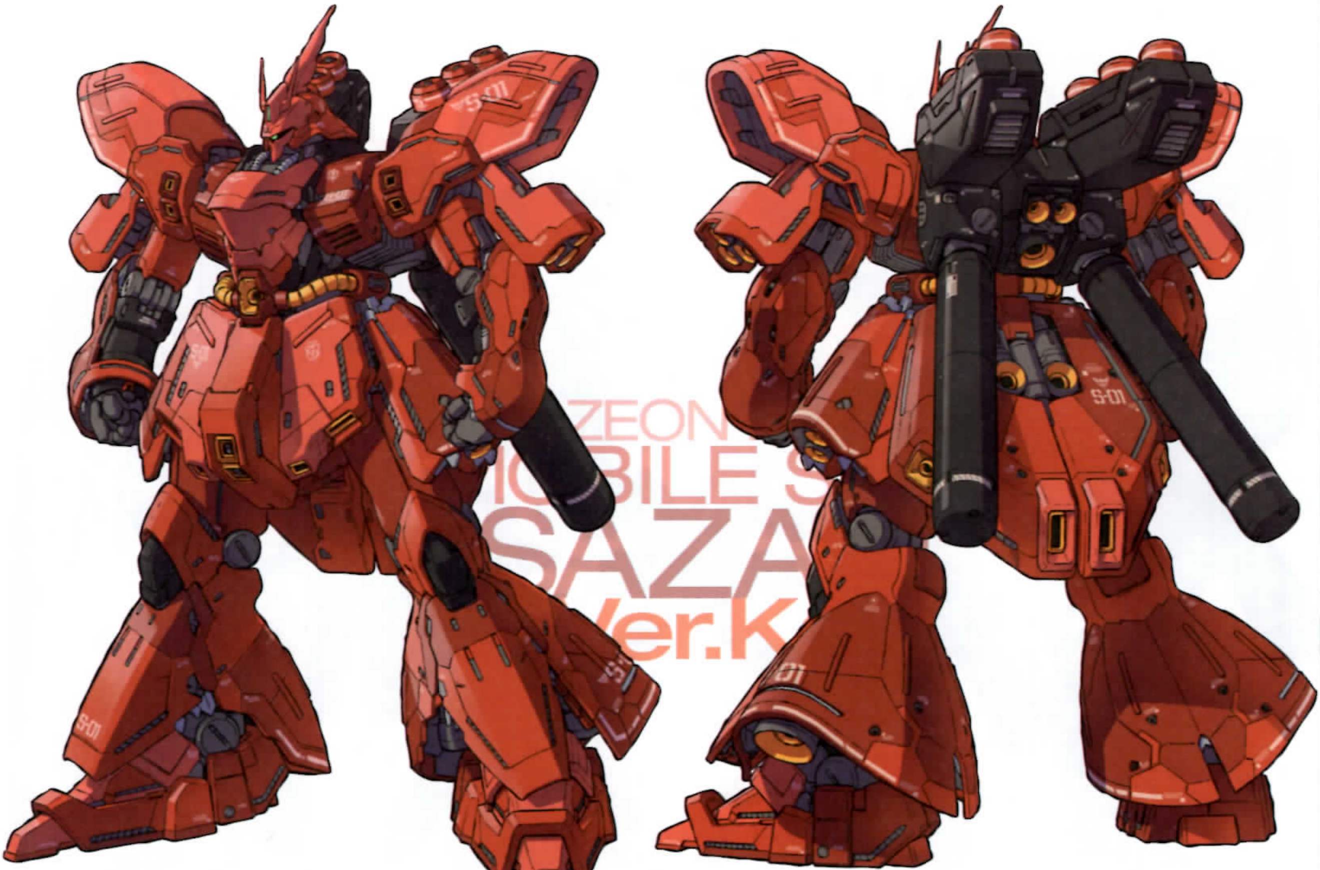
CHAR AZNABLE'S MOBILE SUIT FOR NEW TYPE
U.C.0093 NEO ZEON

BANDAI

BANDAI 2013 MADE IN JAPAN

※画像の完成品は塗装してあります。 ※本書内の開発画稿は準備稿です。

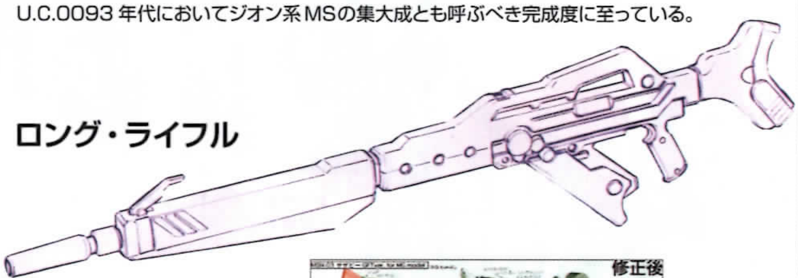
0185135

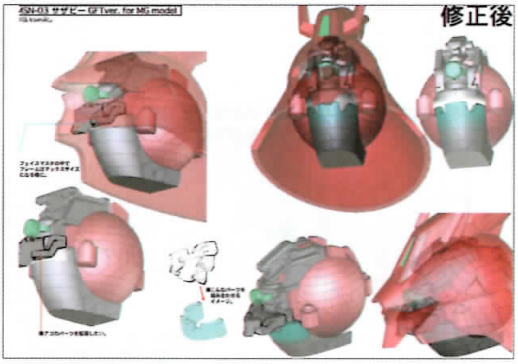


MSN-04 サザビー

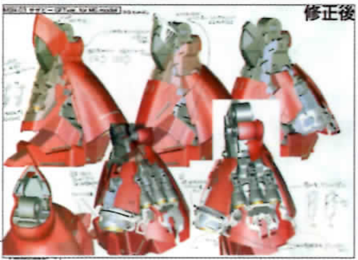
新生ネオ・ジオン総帥、シャア・アズナブルが搭乗するNT(ニュータイプ)専用MS。新素材であるサイコフレームの採用により、遠隔操作デバイス“サイコミュ”がMSサイズで搭載可能になり、U.C.0093年代においてジオン系MSの集大成とも呼ぶべき完成度に至っている。

ロング・ライフル





⬆頭部構造は内部のコクピットブロックとモノアイがメインとなる。フェイスマスクの下にも内部フレームがあり、アゴのパーツが拡張されている



➡脚部の外装から見える内部フレームとの噛み合わせや、トラス状のシルバーフレームに凹凸のディテールが追加されている



⬅開いた胸部装甲の隙間から見えるシルバーフレームは、犬歯が噛み合わさったような形状。あえて“歯並び”が悪いような不均一さで立体感を出している



➡肩部のシルバーフレームは外装が展開すると最も目立つ部分。単純な面構成にならないよう、立体的なアレンジが加えられ、変化を演出している

ガンダムフロント東京“DOME-G”

2012年4月、ダイバーシティ東京にガンダムワールドを体験・体感できる「ガンダムフロント東京」が誕生。その中の映像施設「DOME-G」は直径16m、6台のプロジェクターと13台のスピーカーが設置された特設巨大ドームで、迫力のガンダム映像を全身で体感することができる。2013年8月にリニューアルされた映像では、νガンダムとサザビーが激突する冒頭から、オリジナルエピソード「機動戦士ガンダム UC One of Seventy Two」へと展開していく。



⬆CGムービー用に、カトキ氏が新たにνガンダムとサザビーのデザインを起こしている



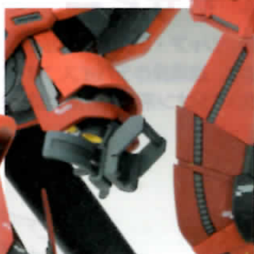
⬆「機動戦士ガンダムUC One of Seventy Two」よりユニコーンガンダム3号機 フェネクスと同2号機バンシィ

NEO ZEON MSN-04
MOBILE SUIT
AZA
Ver.Ka



⬆重量感のあるバックショット。バックパックから、アニメ設定より２倍ほどの長さになったプロペラントタンクが伸びる

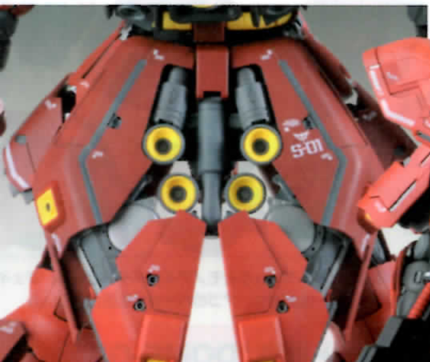
⬆肩部、スカートアーマー、脚部の外装が開くと、サザビーのシルエットが変貌する





⬆シールドは前腕に接続するほかに、ジョイントパーツを肩のカバーアーマーに差し込むことで腕部がフリーになる
※説明のため、腕部を外しています。

⬆➡ファンネル・コンテナは上部をリフトアップさせてからカバーを開く。カバーの内側は廃熱を考慮したラジエーターのような構造になっている。ファンネルはすべて着脱可能で、ビーム発射口とフィンが連動して可動する



⬆厚みのあるリアスカートを下へ伸張させると、中央のシリンダーが伸びて内部メカが露出する。裏面のバーニアが回転してノズルが計４基になる









⬆シャア・アズナブルの軍服姿（立ち）と、パイロットスーツ姿（座り）の２種が付属





⬅頭部はヒサシ部分が上がり、マスクとクリアのバイザーが下がると、モノアイレール、奥にコクピットが配置されていることがわかる



⬆クリアのコクピットブロックが追加で付属。リニアシートとシャア・アズナブルが確認できる

⬅胸部にガンプラ用LEDユニット(緑)(別売り)を組み込むことで、モノアイが発光する



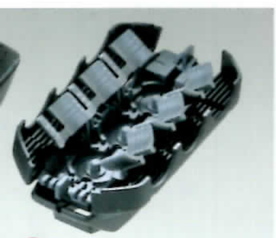
⬆肩の上部装甲を上げて肩ブロックを外側へ伸張させると、シルバーの内部フレームやバーニアが露出する



※ガンプラ用LEDユニット(緑)(別売り)

➡フロントスカートは外側をスライドさせると内部メカが現われる。サイドスカートはバーニア部を下へ半回転させると外装がスライドする









⬆脚部のフレアアーマーは左右・後方に開閉可能で、内部のアポジモーターやインナーフレームが露出。メカニカルな演出がキットに盛り込まれている







⬅ロング・ライフル、ビーム・ショット・ライフル、シールド、ビーム・サーベル、ビーム・トマホークが付属。ビーム・トマホークは展開・分離のギミックをもつ

先祖返りと進化を内包した「MGサザビー」

νガンダムがVer.Kaで２度目のMG化となったこと受けて、宿敵であるサザビーもMG Ver.Kaで再びの立体化。その出来栄えはガンプラの絶え間ない進化を感じさせるものだった。

Interview ; KATOKI HAJIME

新生ネオ・ジオン、そして総帥シャア・アズナブルをシンボライズしたMSN-04サザビーは、アムロの乗機・RX-93νガンダムと激闘を繰り広げた。ガンダムフロント東京(GFT) "DOME-G" のスペシャル映像では、ハードディテールが施された2機が3DCG化され、ガンダムシリーズでも屈指の名シーンを全天スクリーンで堪能できる。GFT版のサザビーは当初、アニメ設定を元にCG化されていたが、DOME映像用に先行して進められたνガンダムのモデリングが非常に密度の高いものとなった為、バランスを考慮してνガンダムのレベルに並んだディテールを目指すこととなった。こうしてDOME-Gの映像上でνガンダムに対峙するにふさわしい、精緻なサザビーが誕生したのである。

カトキ「MGサザビー Ver.Kaは、νガンダムの時と同様にDOME-G用CGモデルのデザインを踏まえてスタートしました。開発するにあたっては、ユニコーンガンダムでの "変身ギミック"、νガンダムでの "発動ギミック" に続く今年のアイテムとして、サザビーなりの特殊ギミックが欲しいですねとスタッフと話しました。機体のシルエットを変えるギミックは、何よりプロポーションが大事とされるMSのプラモにおいては、二つのモードの両方でプロポーションを成立させなければならないため、なかなか骨の折れる作業なのですが、プラモの面白さを求めて今回も一歩踏み込んだチャレンジを行なっています。通常のガンプラにない、新しい何かを取り入れる事が、Ver.Kaに求められるミッションですので、今回もあれこれと考えつつ、まずは素体のプロポーションから着手していきました」

最初のMG RX-78-2ガンダムや初期のMGでは、スケールモデル的なアプローチであるハッチの開閉ギミックや内部機構の再現がセールストークで謳われていた。MGはシリーズを重ねるごとに、立体化するMSやユーザーの要望に合わせて、内部フレームの再現や合体・変形、可動機構の充実といったさまざまな方面に技術を革新させていくことになる。

カトキ「もう20年近くも前になりますが最初のMGだったRX-78-2のコンセプトではハッチオープンのギミックが有りました。今回のサザビーではMGのキットとしてひさびさにそのハッチオープン・ギミックに挑戦しています。開く前はパネルラインとして見て美しく、展開後には外装が変化したシルエットと、複雑な陰影が面白い、というのがハッチオープンの理想であります。さらに言えば、ワンメイクの作例であれば自由にハッチを仕込めますが、誰でも組めるプラモで、接着剤を使わずギミックを成立させるのは、ハードルが高い作業なのです。MGサザビー Ver.Kaは、ギミックが多いわりにはパーツ数が抑えられていますから、組み立て工数は多いかもしれませんが、組みやすく誰でも間違えずに完成するようなパーツ構成になっている筈です」

U.C.0093年時でも、最大級の重MSのプロポーションを再現しつつ、外装を展開しシルエットが変貌してもさらに "様" になるものをMGサザビー Ver.Kaは目指している。

カトキ「今回はシルバーのフレーム部分で新しい素材を試しています。内部にはサイコフレームとかクリア素材を用いる案もありましたが、赤と黒で彩られたサザビーの外装を展開したときに露出する３番目の色としては、シルバーがキレイなのではと踏んだのです。模型雑誌ではMSのメカ部分にシルバーを加えた作例がよく観られますが、キットの素組みでシルバーが用いられているケースは少ないですよね。これは塗装と違って樹脂ではシルバーの質感が上手に表現できなかったこと、成型時にウェルドライン（表面の模様）が目立ってしまうのが、これまで避けられた原因でした。しかし最近のシルバーの樹脂はだいぶ良いものが有るのだとバンダイのスタッフから聞いて、是非サザビーで試そうという話になりました。HGUCユニコーンガンダム3号機 フェネクスでは同じ系統の樹脂でゴールド成型されています。その仕上がりがなかなか良さそうだと確認できたので、サザビーのフレームで使う事にGOが出たのです。フレームは可動したりスライドする部分でもあるので、塗装すると色剥げや干渉の心配もあります。装甲の隙間から見える範囲であれば、無塗装派やポイント塗装派の方には満足してもらえるクオリティでは無いかと思っています」

可変機能や大火力・多機能性重視から、シンプルな機体コンセプトへ移行していったU.C.0093年代。サザビーは先祖返りを果たしながら、NT専用機としてトップクラスの性能を誇っていた。MGサザビーVer.KaもMGのコンセプトでは原点に立ち返りながら、中～上級モデラーでなければ作ることができないようなギミックを、誰でも組み立てることができる商品へ昇華させている。

カトキ「外装が展開するギミックは、νガンダムVer.Kaと同じ "発動モード" と考えていただいてもよいですし、メンテナンス状態と考えていただいてもよいでしょう。設定を大事にしたい人も、イマジネーションを広げたい人もそれぞれの立ち位置で楽しめるキットになれたら一番良いですね。プラモデルで表現の幅を広げていくチャレンジに、MG Ver.Kaシリーズではこれからもいろいろ取り組んでいくと思います。皆さんにはそれぞれのイマジネーションで受け止めていただけたらと思います」

サイコフレーム搭載型 MS の系譜



サイコフレームは、U.C.0093年の『シャアの反乱』においてνガンダムとサザビーに搭載され、初めて実戦に投入されている。アクシズ落下の際には２機の周りで『サイコフィールド』の発生が確認されている。その発生原因が不明のまま、３年後に全身のムーバブル・フレームにサイコフレームを採用したシナンジュ・スタイン、ユニコーンガンダムを実験的に開発している



機動戦士ガンダム 逆襲のシャア



⬆「逆襲のシャア」では何枚かのイメージボードが起こされ、劇場化決定発表時にアニメ誌などで公開された。そのうちの一枚には出撃直前のサザビーが描かれ、今回のMG Ver.Kaではそこに描かれたロング・ライフルが付属する

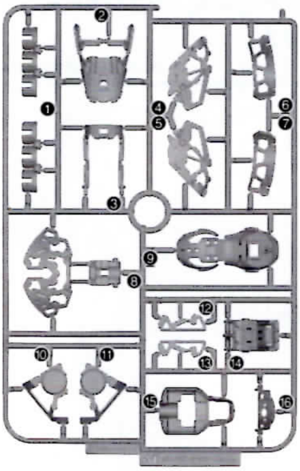
⬇U.C.0093年、シャア・アズナブルは新生ネオ・ジオン軍の総帥となり、人類を粛清するべく、地球寒冷化作戦を決行。小惑星5thルナに続き、アクシズをも落下させようとする。ブライトとアムロが所属する地球連邦軍ロンド･ベル隊は、シャアの作戦を阻止するべく行動を開始。地球の命運を賭けて、２人のニュータイプが激突する！



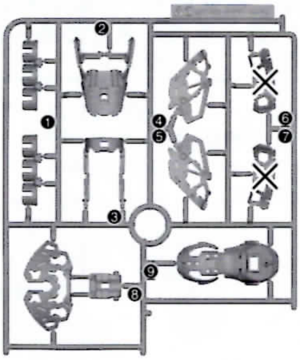
パーツリスト

（✕印は使用しないパーツです。）

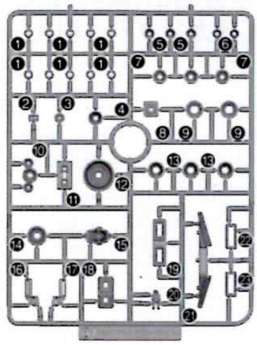
A1パーツ（シルバー）
（スチロール樹脂：PS）



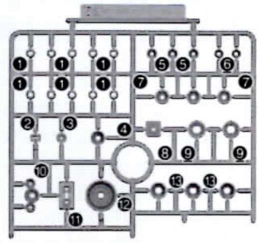
A2パーツ（シルバー）
（スチロール樹脂：PS）



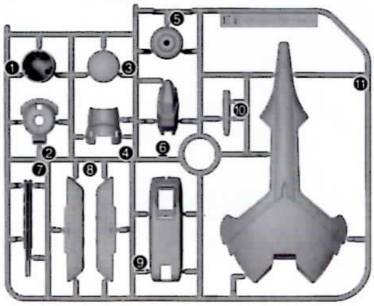
B1パーツ（イエロー）
（スチロール樹脂：PS）



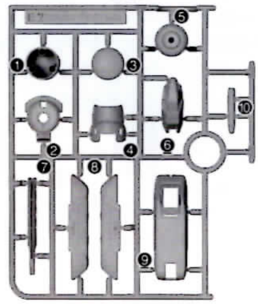
B2パーツ（イエロー）
（スチロール樹脂：PS）



E1パーツ（ブラック）
（スチロール樹脂：PS）



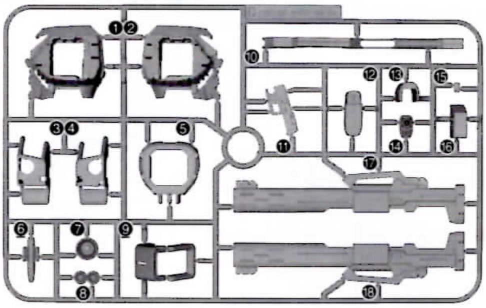
E2パーツ（ブラック）
（スチロール樹脂：PS）



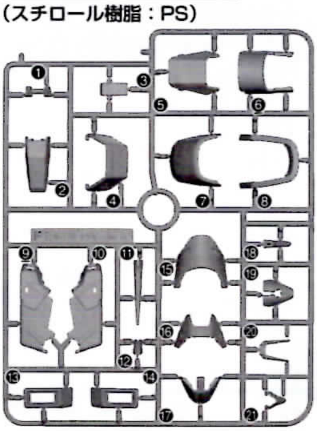
Cパーツ（ダークグレー） （スチロール樹脂：PS）



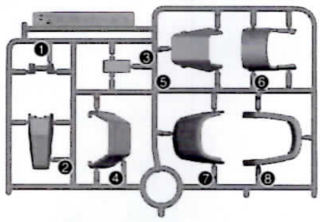
Dパーツ（ブラック） （スチロール樹脂：PS）



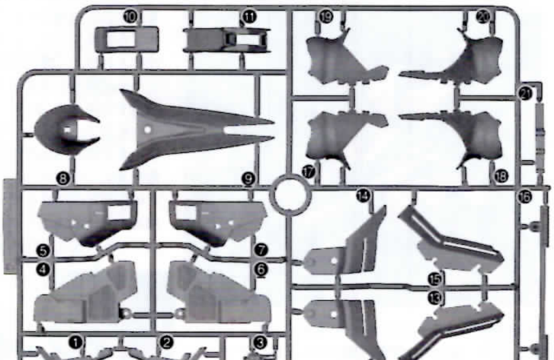
F1パーツ（ライトレッド）
（スチロール樹脂：PS）



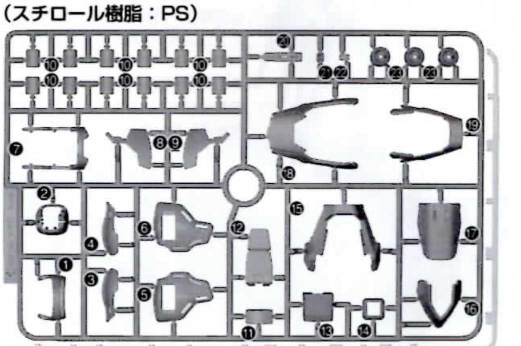
F2パーツ（ライトレッド）
（スチロール樹脂：PS）



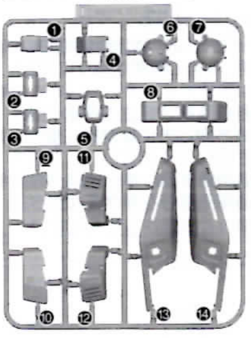
Gパーツ（レッド） （スチロール樹脂：PS）



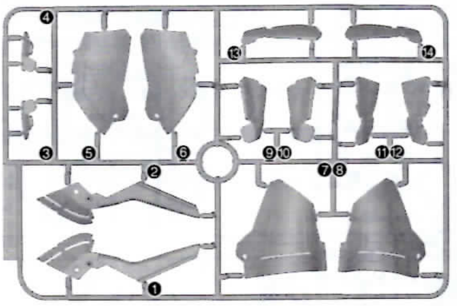
Hパーツ（レッド） （×2）
（スチロール樹脂：PS）



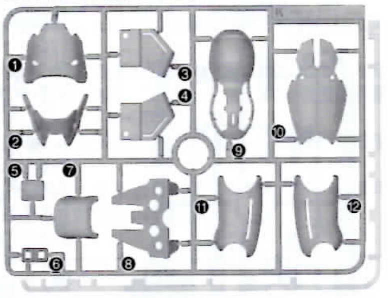
Iパーツ(ダークレッド)
(スチロール樹脂：PS)



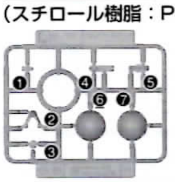
Jパーツ(ダークレッド)
(スチロール樹脂：PS)



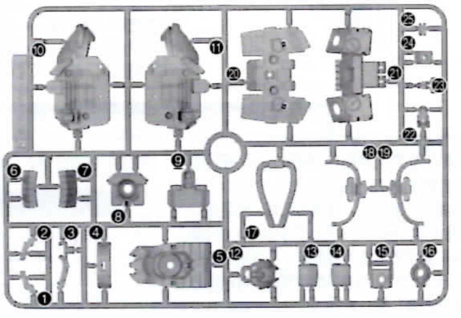
Kパーツ(ダークレッド) (×2)
(スチロール樹脂：PS)



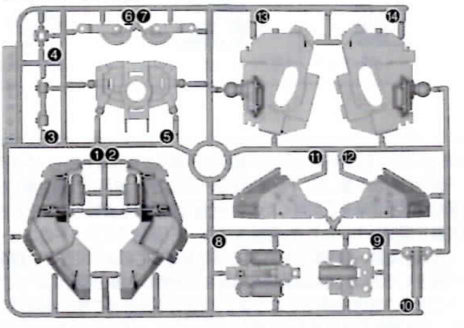
Lパーツ(クリア)
(スチロール樹脂：PS)



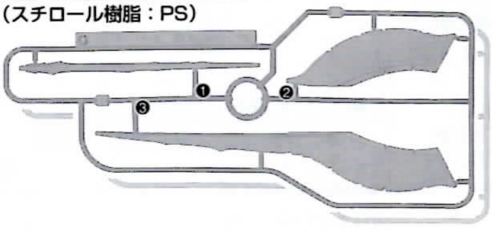
Mパーツ(グレー)
(スチロール樹脂：PS)



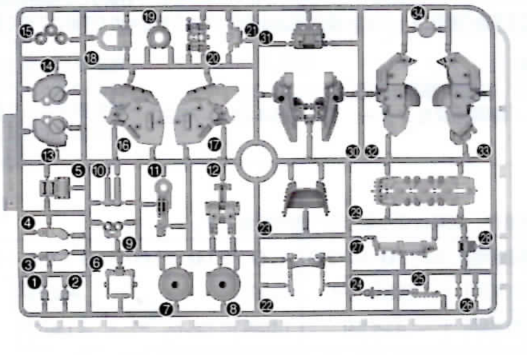
Nパーツ(グレー)
(スチロール樹脂：PS)



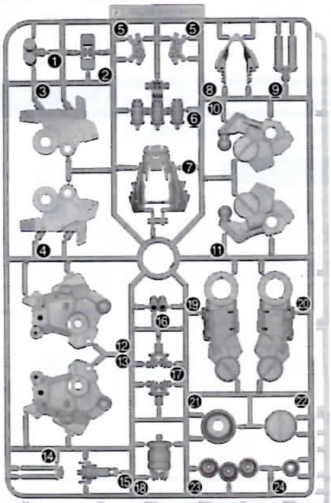
Oパーツ(クリアグリーン) (×2)
(スチロール樹脂：PS)



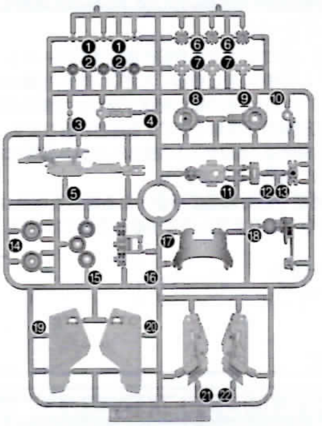
Pパーツ(グレー) (×2)
(スチロール樹脂：PS)



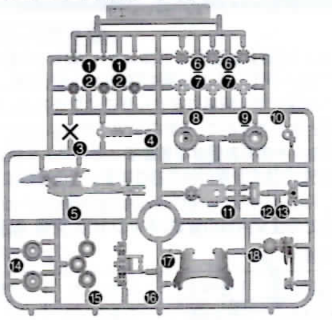
Qパーツ(グレー) (×2)
(スチロール樹脂：PS)



R1パーツ(グレー)
(スチロール樹脂：PS)

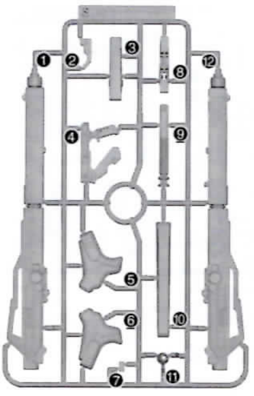


R2パーツ(グレー)
(スチロール樹脂：PS)

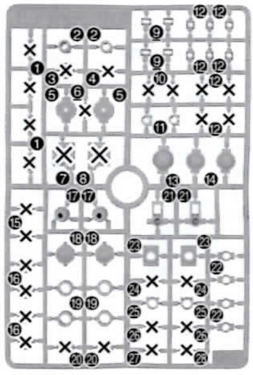


※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

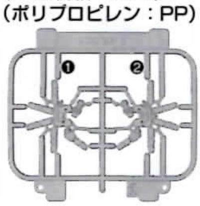
Sパーツ(ダークグレー)
(スチロール樹脂：PS)



Tパーツ(グレー)
(ポリエチレン：PE)



MP2パーツ(グレー)
(ABS樹脂：ABS)
(ポリプロピレン：PP)



MP2（エモーションマニピュレーター SP）は全関節可動のため、非常に精密な造りになっています。
※各指関節は組立図中の矢印の方向以外には絶対に動かさないでください。
※各関節を動かすときは、関節の根元部分を押さえながら、ゆっくり動かしてください。

カラーシール……………………………1枚
※カラーシールはのびやすいので、貼る際、はがす際は、ゆっくり慎重に行ってください。

水転写デカール…………………………1枚

《お買い上げのお客様へ》万が一部品に不良品がありましたら、その部品を取りはずし、商品名、部品の記号、部品番号、不具合の症状を書いて、下記までお送りください。良品と交換させていただきます。また、部品をこわしたり、なくした場合は部品通販をご利用ください。代金は料金表を参照していただき、商品番号／商品名／部品の記号／部品番号／数量を明記していただき、部品注文カード(部品注文カードのコピー、手書き可)、部品代＋送料の料金(100円単位を定額小為替、10円単位を切手)と共に封書にてお送りください(封書の裏に必ずお客様のお名前／ご住所／年齢をお書きください)。送料は実際に部品をご用意した際の重量によって変わります。また、別途手数料が必要な送付方法をご希望の場合、別料金となります。料金の不足分はご請求、超過分は残額をお返し致します。ただし、それ以外にかかった手数料等はお客様のご負担となります。在庫がない場合は誠に申し訳ございませんがご注文をお返し致します。ご記入いただきました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用致しません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくはhttp://bandai-hobby.net/SC/2007/10/post_55.html ▶「部品注文のしかた」をご参照ください。通信費等はお客様のご負担となります。**※お送りした部品に不良がある場合を除き、お客様都合での注文内容の変更、キャンセル、交換、返品は受付けておりませんので予めご了承ください。**

■申し込み先
〒420-8681　静岡県静岡市葵区長沼500-12
(株) バンダイ静岡相談センター　TEL 054-208-7520

・電話受付時間 月～金曜日
（祝日を除く）10:00～16:00
・電話番号はよく確かめてお間違いのないようにご注意ください。

FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード　0185135
1/100SCALE MGシリーズ
サザビー〔Ver.Ka〕

必要な部品の記号・番号・数量をかく

●注文された理由(○で囲む)(こわした·なくした)

・日中ご連絡可能な電話番号　・**年齢**
(　　-　　-　　)(　　才)
R2204932　'13.12

2013.12/SA・ON　※コピー使用可

《料金表》●部品代、送料は切り取った1個の料金です。

部品番号	取扱説明書	MP2❶・MP2❷	C❶	E1❶・E1❺・E2❶・E2❺・I⓭・I⓮・S❶・S⓬	O❸	カラーシール	水転写式デカール	その他の部品
部品代	200円	各300円	200円	各60円	100円	60円	200円	各60円
郵送料	200円	120円	140円	140円	140円	80円	80円	120円

●部品の価格は変更する場合があります。最新の価格はお電話にてご確認ください。

MG サザビー〔Ver.Ka〕のモノアイを発光させたい方は、こちらをお読みください。

必ず先にお読みください

LEDセット(緑)〈LEDライトユニット(緑)、J1❶、ビス各1個〉のご注文は右記の部品注文カードをご利用ください。申し込み方法等の詳細は、上記《お買い上げのお客様へ》をご参照ください。また、在庫がない場合には誠に申し訳ありませんがご注文をお返し致します。ただし、その際の発送に掛かった費用はお客様負担となりますので、予めご了承ください。LEDセットの通販は予告無く終了する場合があります。
上限3セットまでお受けできます。(モノアイを発光させる場合は、LEDセット(緑)が1セット必要です。)
WEBでもご注文を受付けております。(通信費等はお客様のご負担となります。)
▶http://bandai-hobby.net/hobbyblog/news/partsorder/**※お送りした部品に不良がある場合を除き、お客様都合での注文内容の変更、キャンセル、交換、返品は受付けておりませんので予めご了承ください。**

《料金表》

個数	1セット	2セット	3セット
部品代	700円	1400円	2100円
郵送料	120円	120円	140円

FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード　0185135
1/100SCALE MGシリーズ
サザビー〔Ver.Ka〕LEDセット(緑)

必要個数に○をつけてください

1セット　2セット　3セット

・日中ご連絡可能な電話番号　・**年齢**
(　　-　　-　　)(　　才)
R2204932　'13.12

2013.12/SA・ON　※コピー使用可

LEDセット(緑)は、店頭においてもご購入いただけます。(「ガンプラ用LEDユニット2個セット(緑)」メーカー希望小売り価格1,155円(税5%))。
ご購入個数によっては店頭価格の方が低価格となります。商品は予告なく販売終了、価格変更する場合がありますので、詳細は販売店にお問い合わせください。

⚠ 注 意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

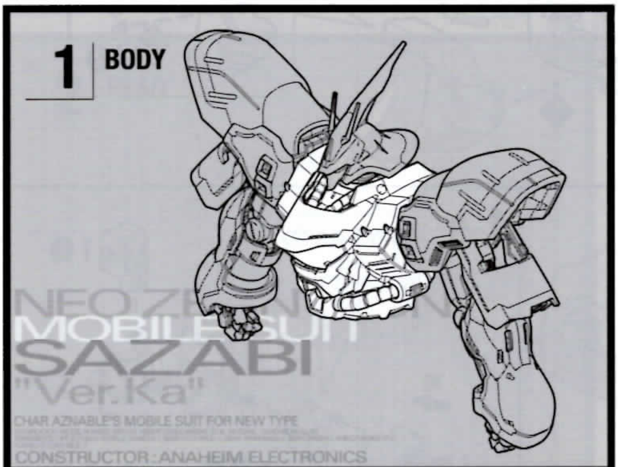
- ●本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ●小さな部品がありますので、小さなお子様が誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ●ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- ●尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

〈組み立てる時の注意〉

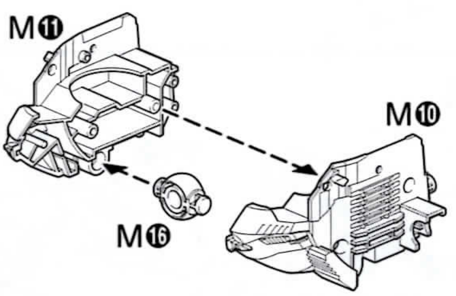
- ●組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- ●部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- ●部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- ●塗装にはより安全な『水性塗料』のご使用をおすすめします。
- ●ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

・接着をするところ	・シールの番号	・デカールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・両側に同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・ビスの締めすぎに注意
・切り取るところ	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・数値に合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動かします

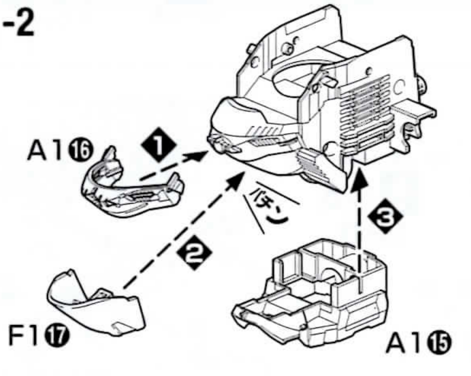
1 BODY



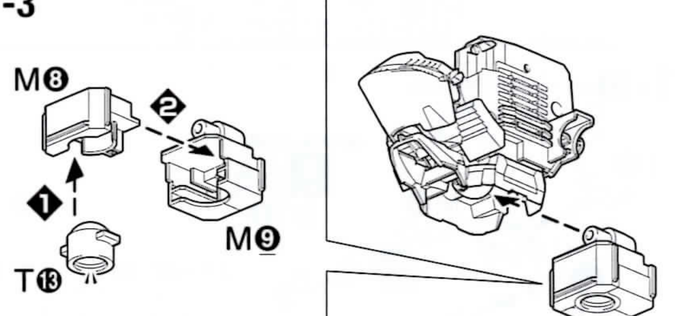
1-1 BODY
〔ボディの組立〕



1-2



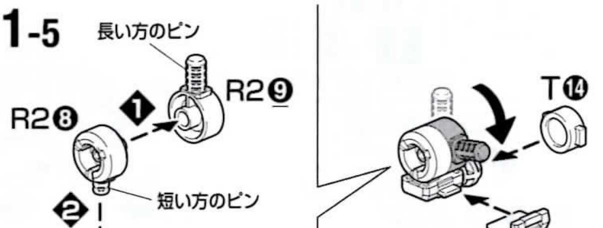
1-3



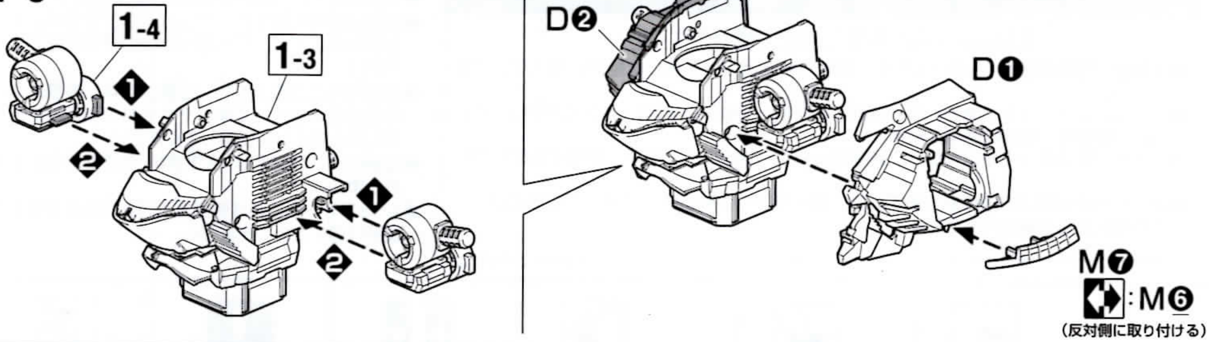
1-4



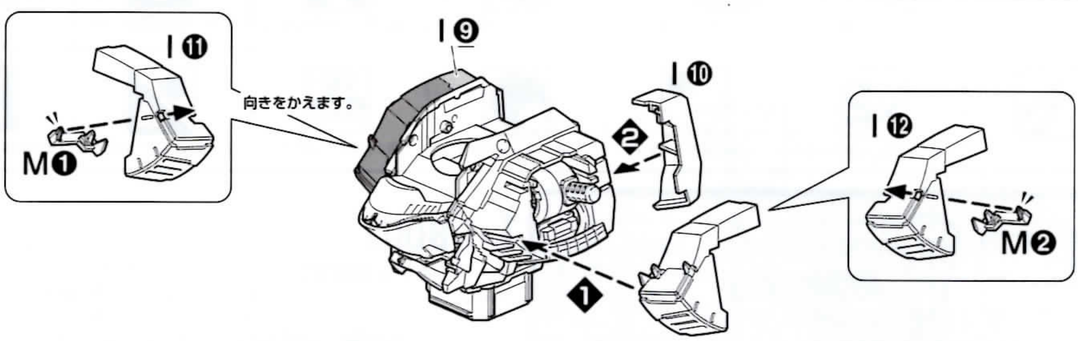
1-5



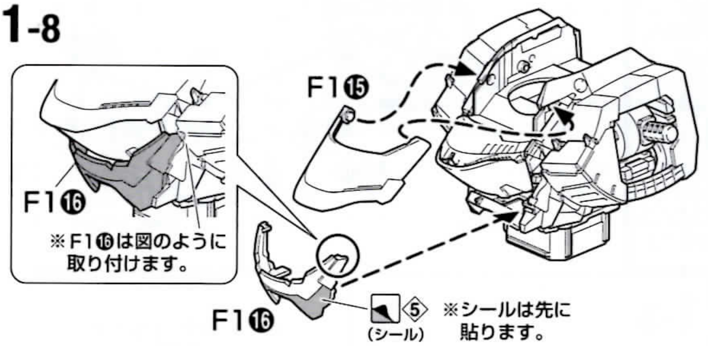
1-6



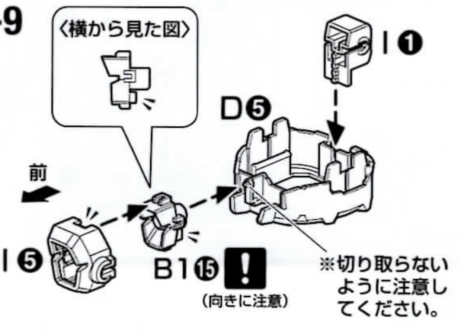
1-7



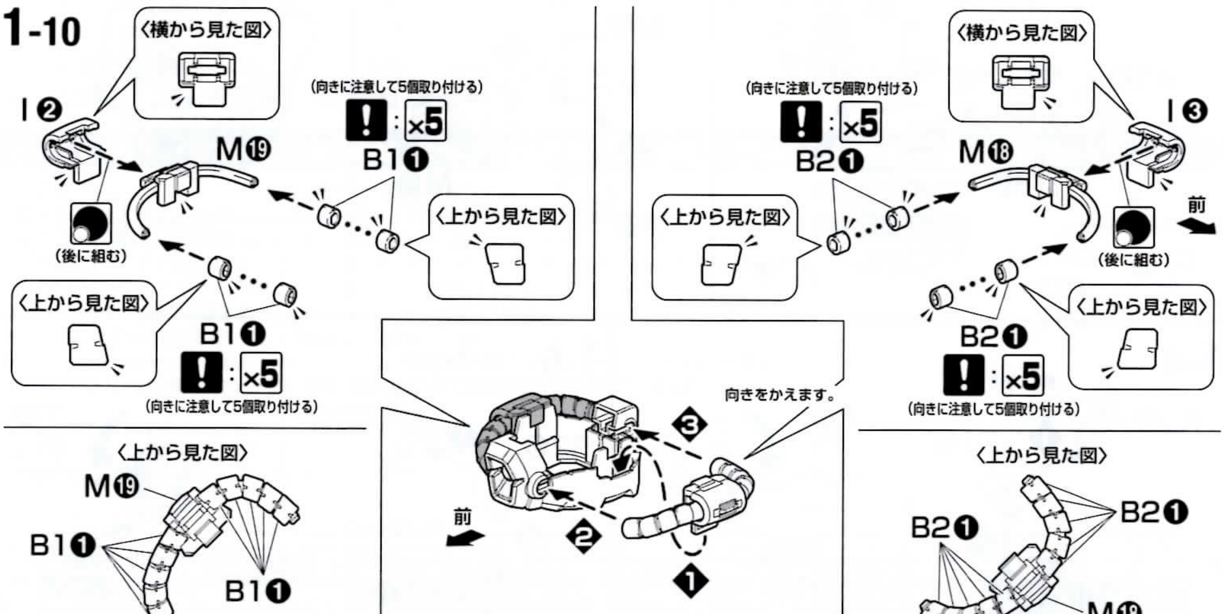
1-8



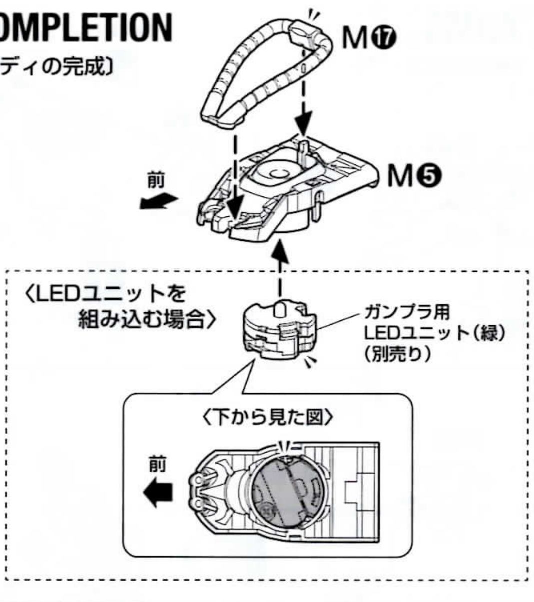
1-9

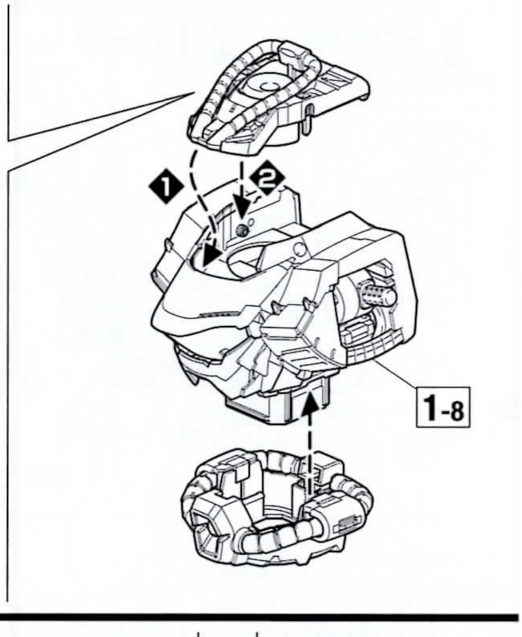


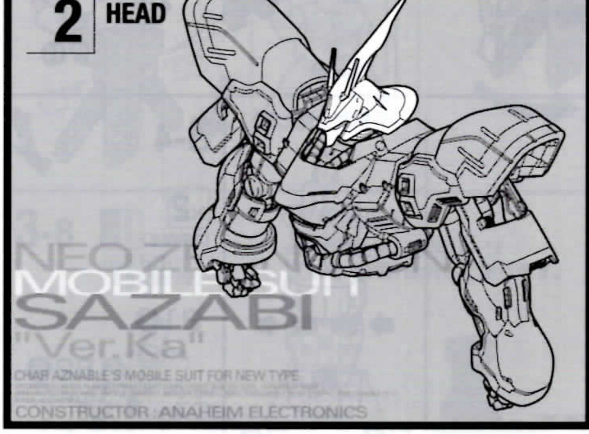
1-10



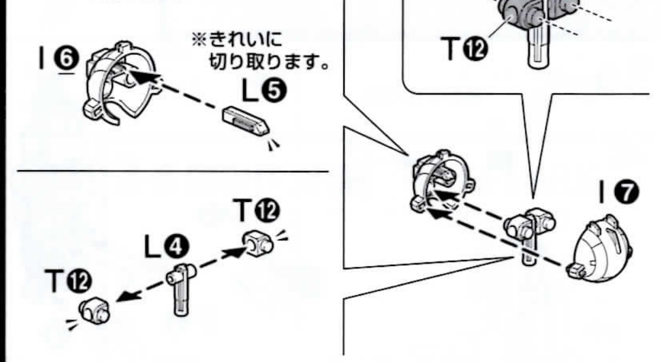
1-11 COMPLETION
〔ボディの完成〕



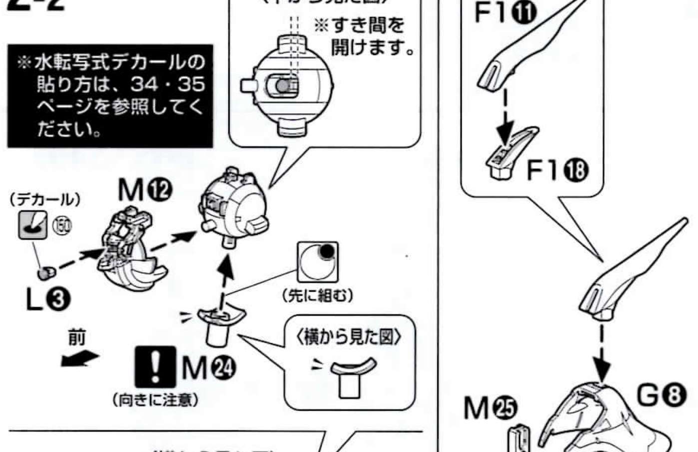




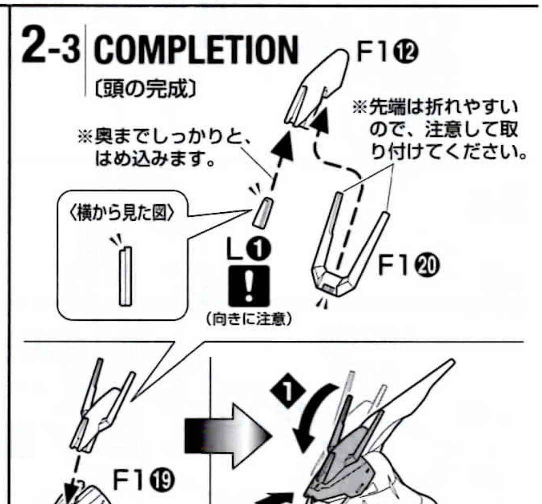
2-1 HEAD
〔頭の組立〕



2-2



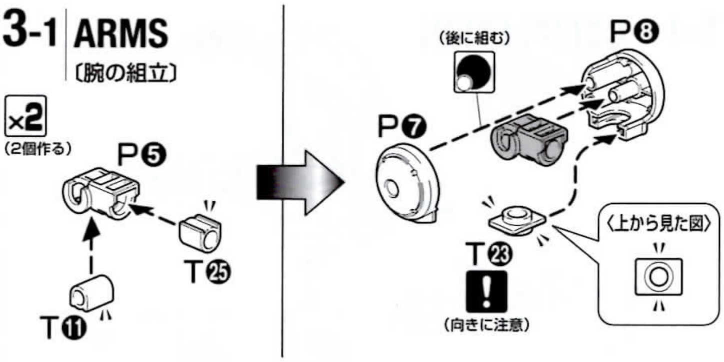
2-3 COMPLETION
〔頭の完成〕



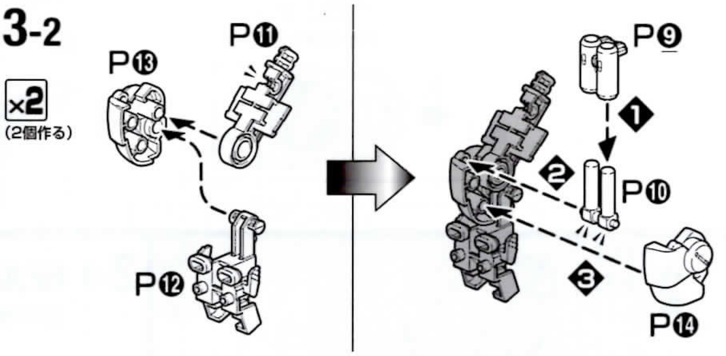
3 RIGHT ARM　4 LEFT ARM



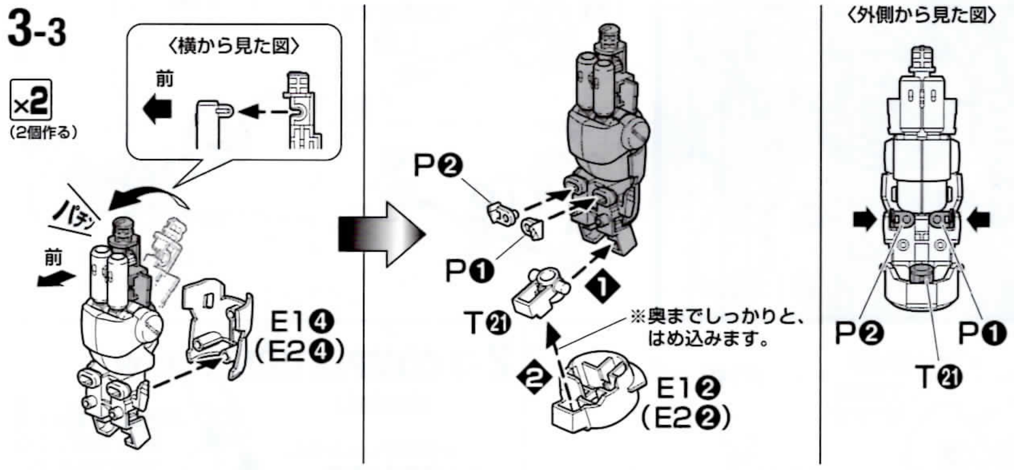
3-1 ARMS
〔腕の組立〕



3-2



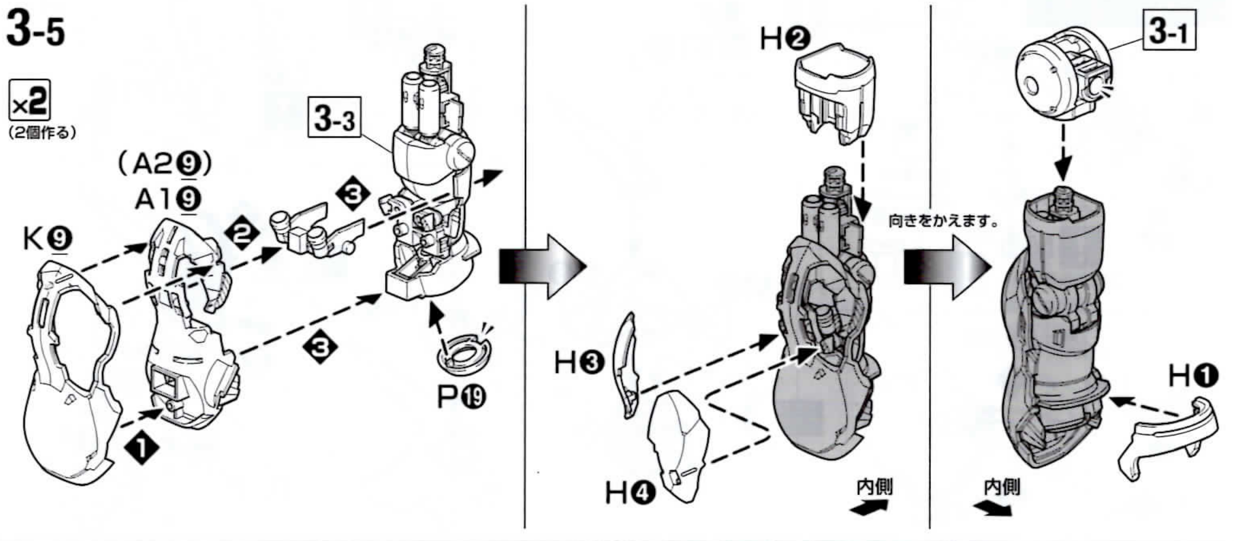
3-3



3-4

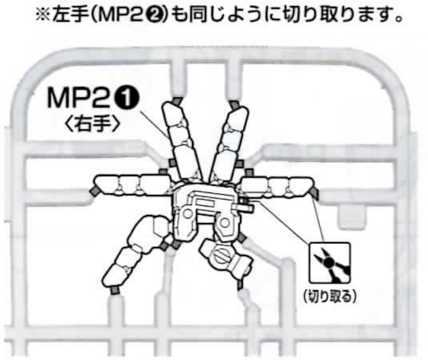


3-5



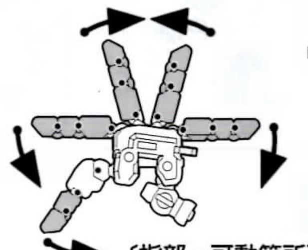
3-6 HANDS
〔手の組立〕

※■部分を切り取ります。
※左手(MP2❷)も同じように切り取ります。



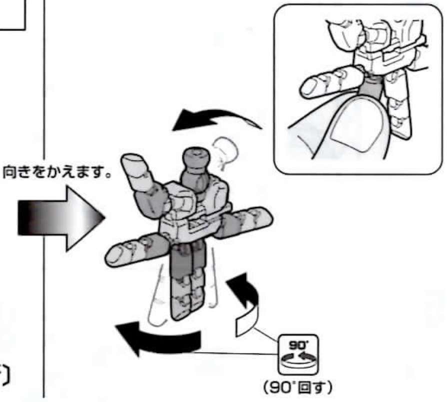
※・部分の各関節が可動します。
※各指関節(□部分)を動かすときは必ず矢印の方向に動かしてください。
※逆方向に動かすと破損する恐れがあります。

※破損の恐れがありますので、逆関節方向には絶対に曲げないでください。

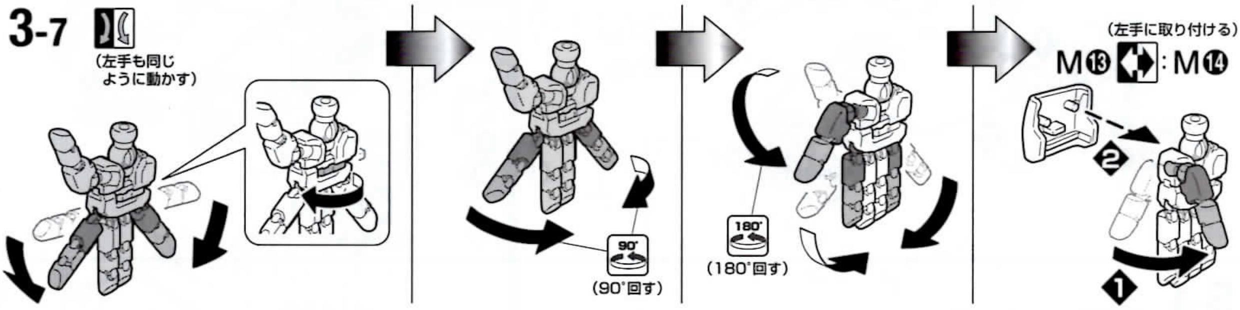


〔指部・可動箇所〕

※左手も同じように動かします。
※各指関節を動かす時は関節の根元部分を押さえながらゆっくり動かしてください。



3-7
(左手も同じように動かす)



3-8
(左手も同じように動かす)

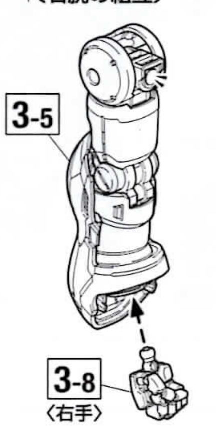


※指付根部の関節は強度上、固めになっていますので、指の付け根を押さえながら点線の箇所を一本ずつ動かすようにしてください。

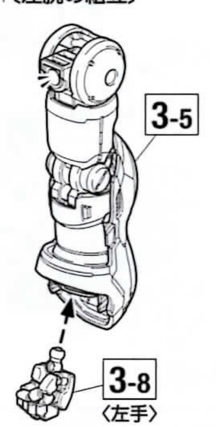
〈完成画像〉
※説明のため、手甲パーツ(M⓭・M⓮)は外してあります。



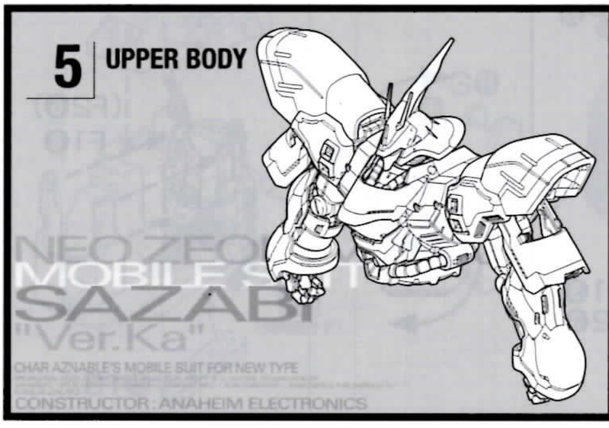
3-9 RIGHT ARM
〔右腕の組立〕



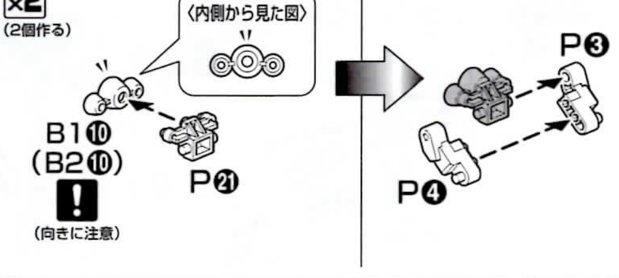
4 LEFT ARM
〔左腕の組立〕



5 UPPER BODY

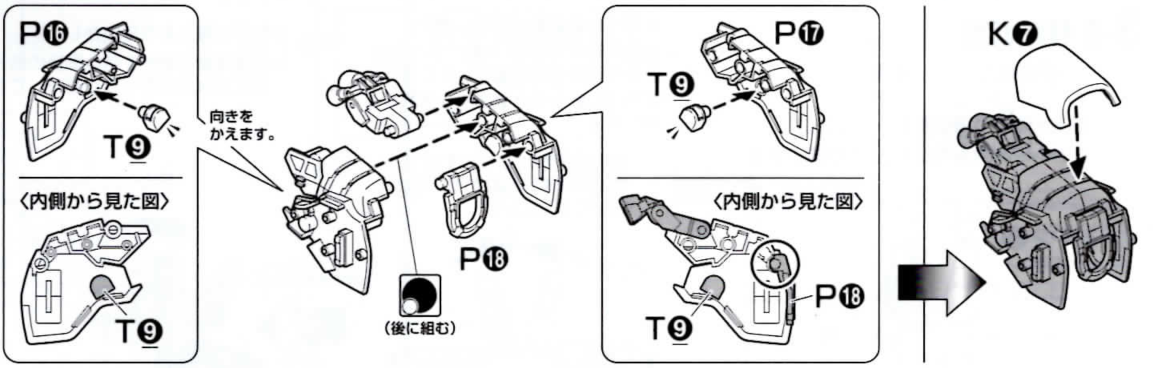


5-1 UPPER BODY
〔上半身の組立〕



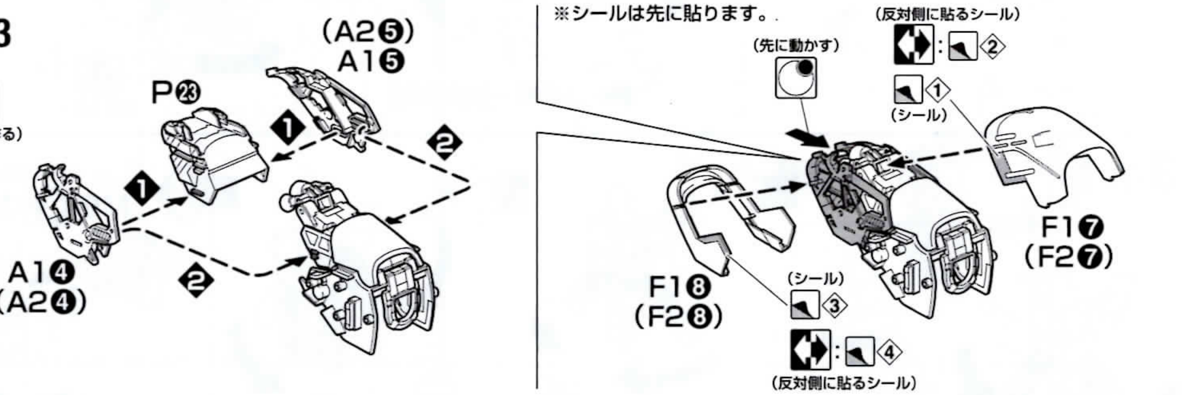
5-2

×2 (2個作る)

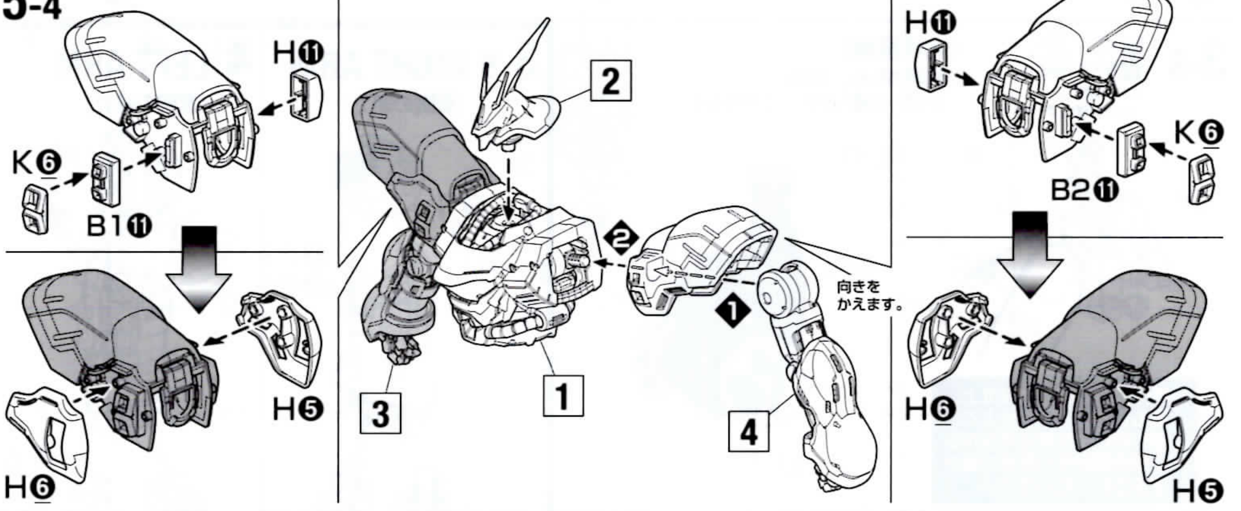


5-3

×2 (2個作る)

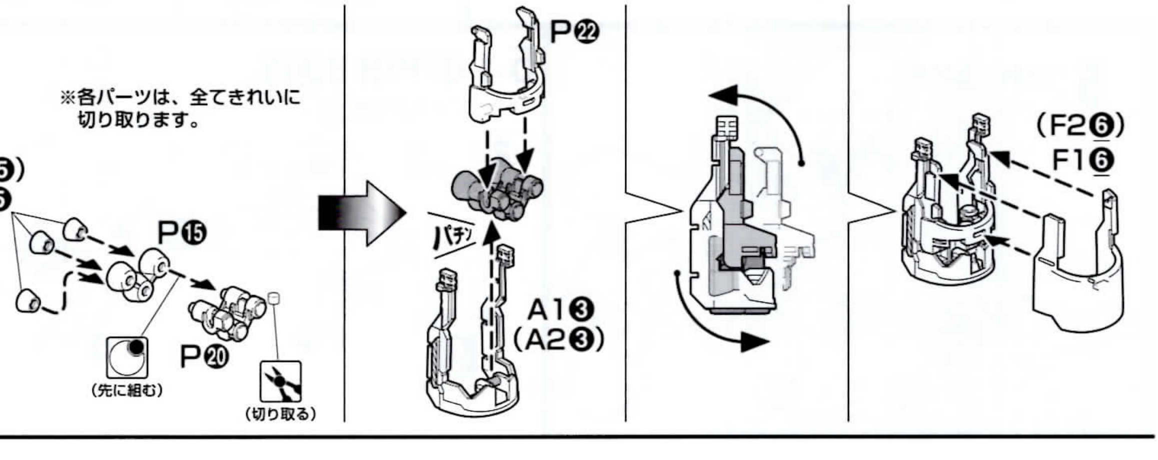


5-4

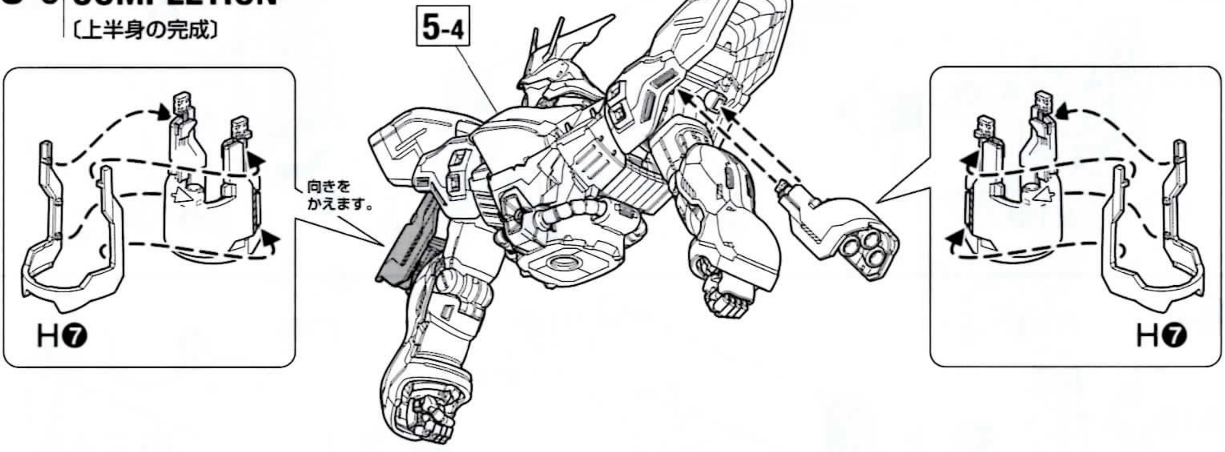


5-5

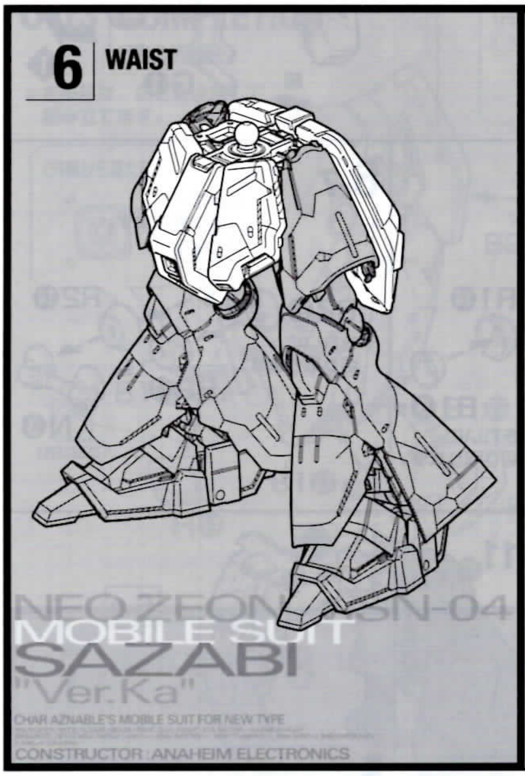
×2 (2個作る)



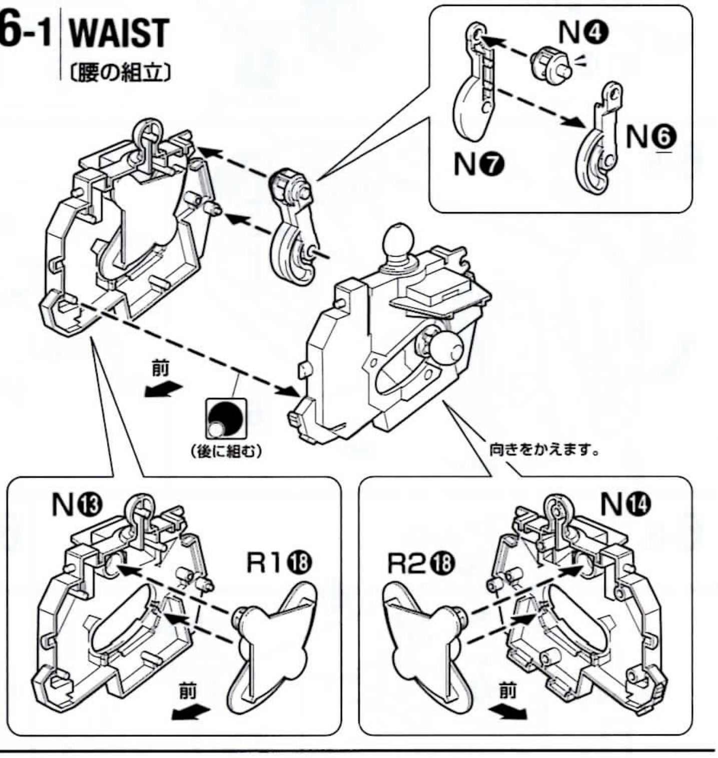
5-6 COMPLETION
〔上半身の完成〕



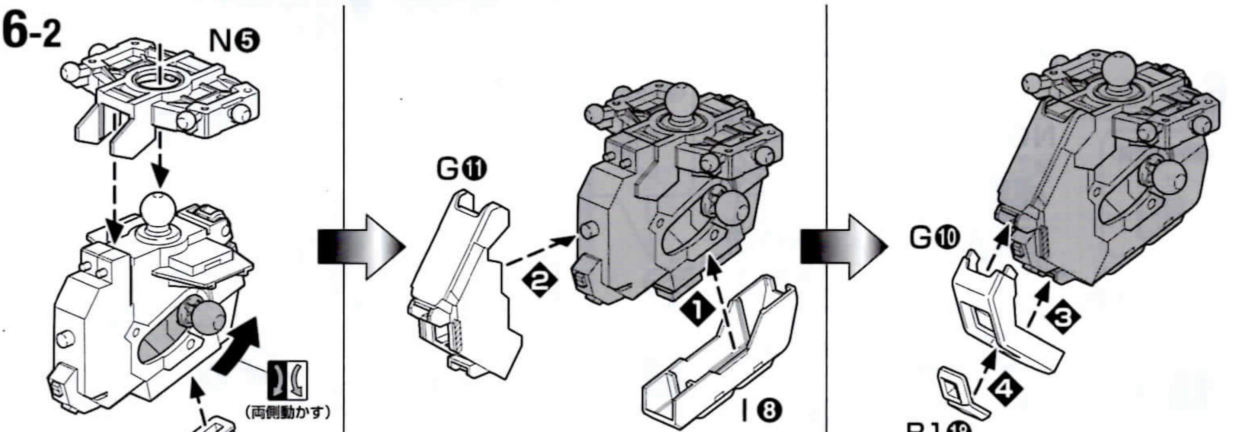
6 WAIST



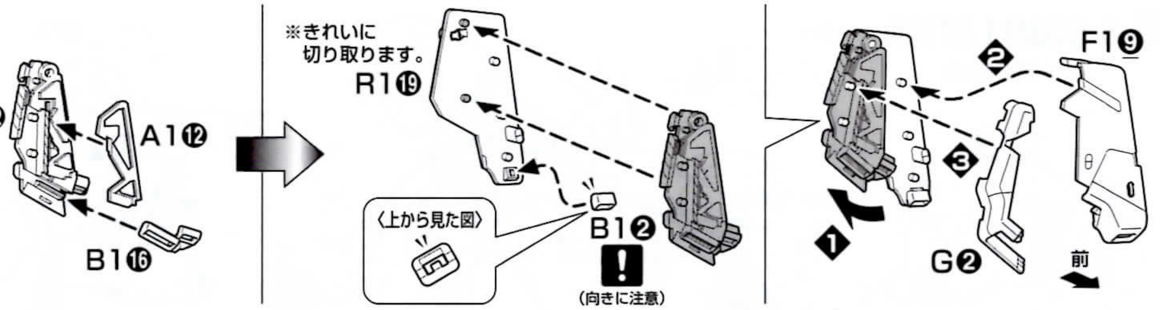
6-1 WAIST
〔腰の組立〕



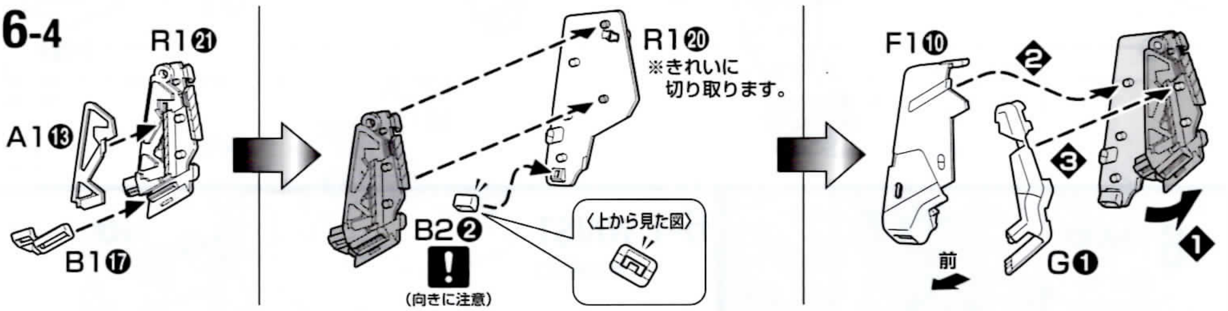
6-2



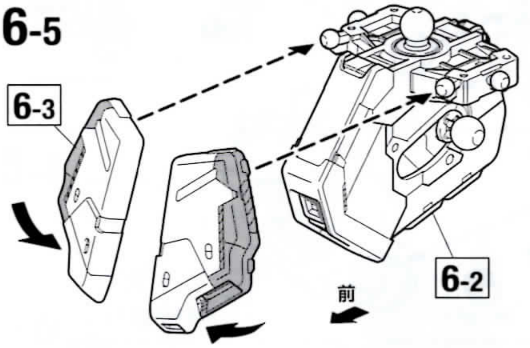
6-3



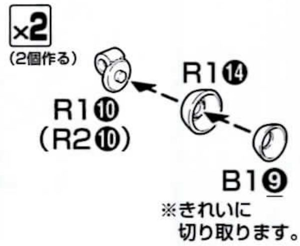
6-4



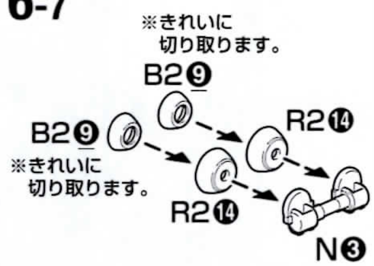
6-5



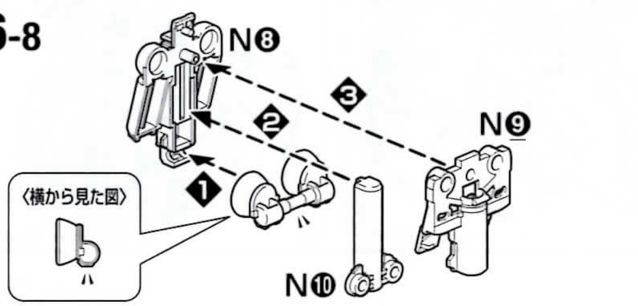
6-6



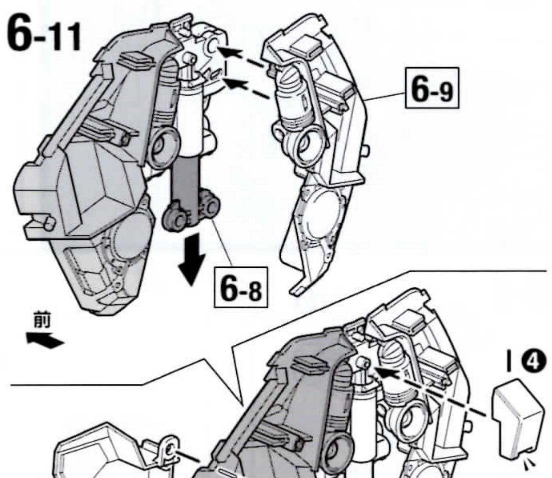
6-7



6-8



6-11



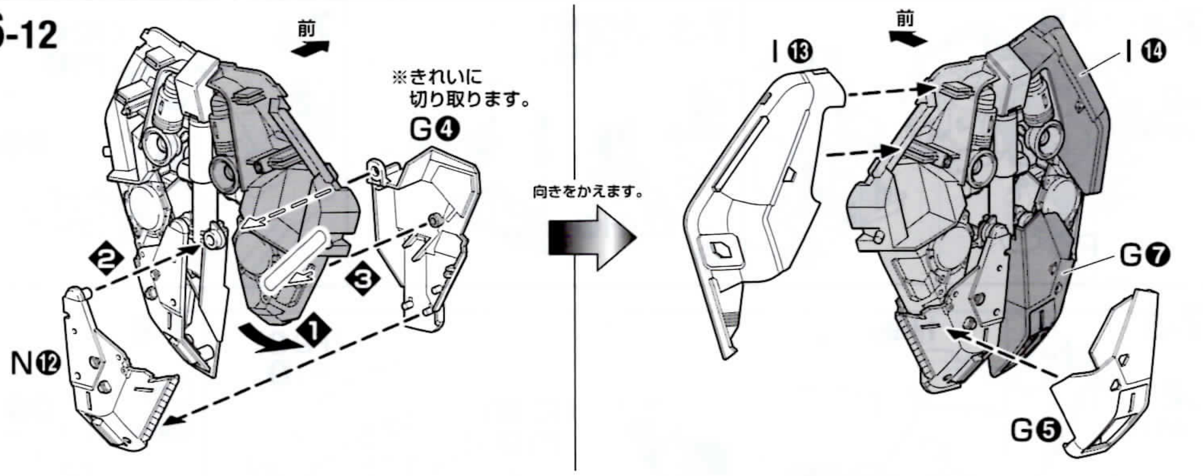
6-9



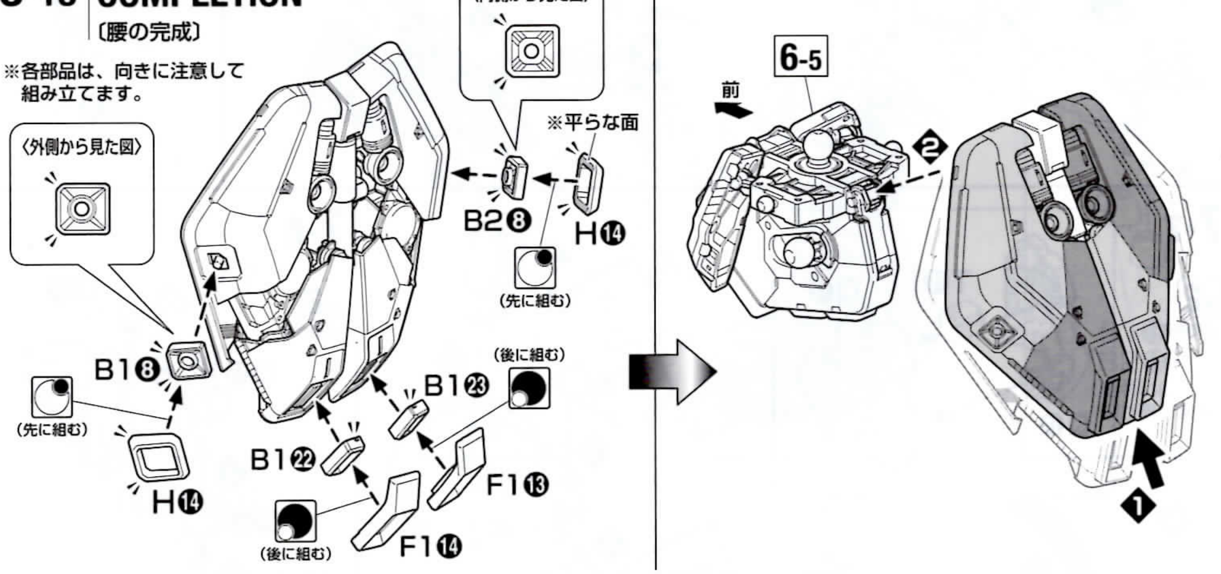
6-10



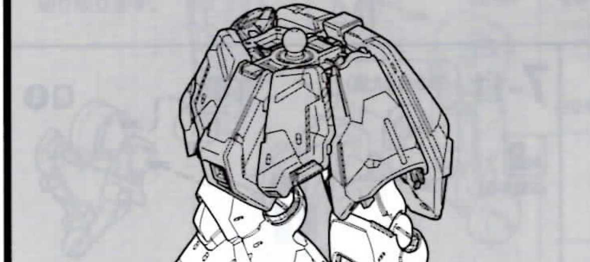
6-12



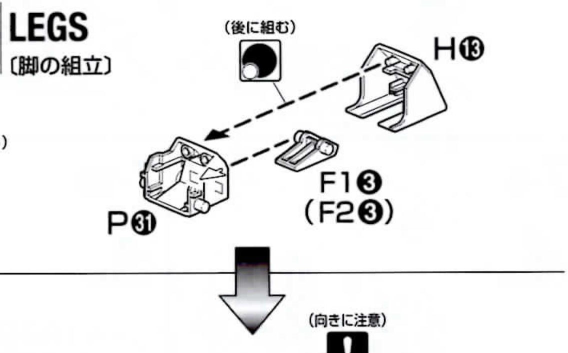
6-13 COMPLETION
〔腰の完成〕



7 RIGHT LEG　8 LEFT LEG

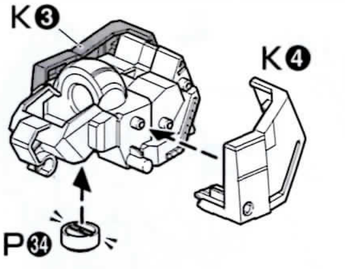


7-1 LEGS
〔脚の組立〕



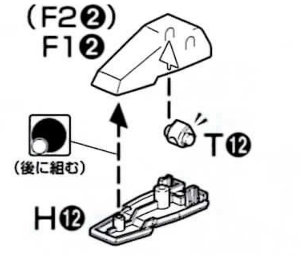
7-2

×2 (2個作る)



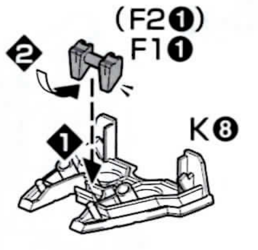
7-3

×2 (2個作る)



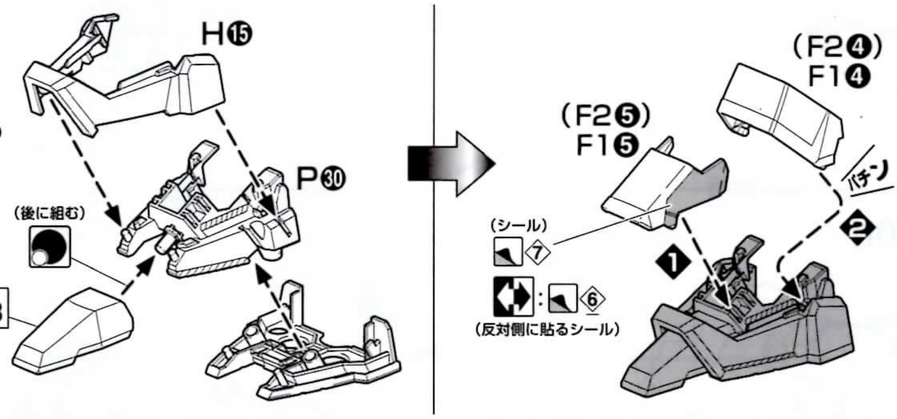
7-4

×2 (2個作る)



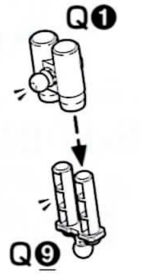
7-5

×2 (2個作る)



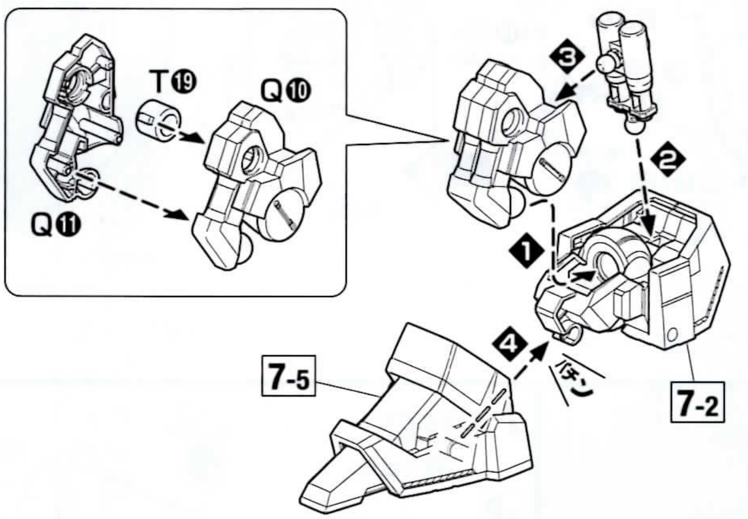
7-6

×2 (2個作る)



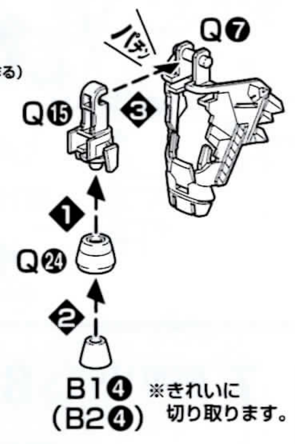
7-7

×2 (2個作る)



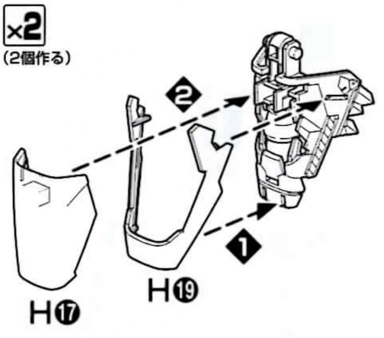
7-8

×2 (2個作る)



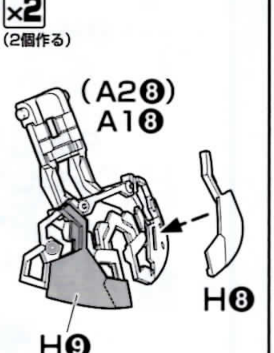
7-9

×2 (2個作る)



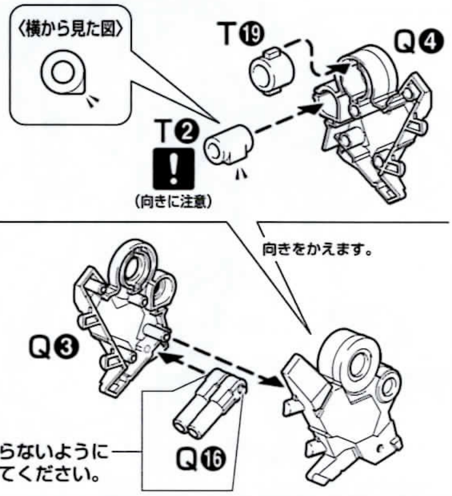
7-10

×2 (2個作る)



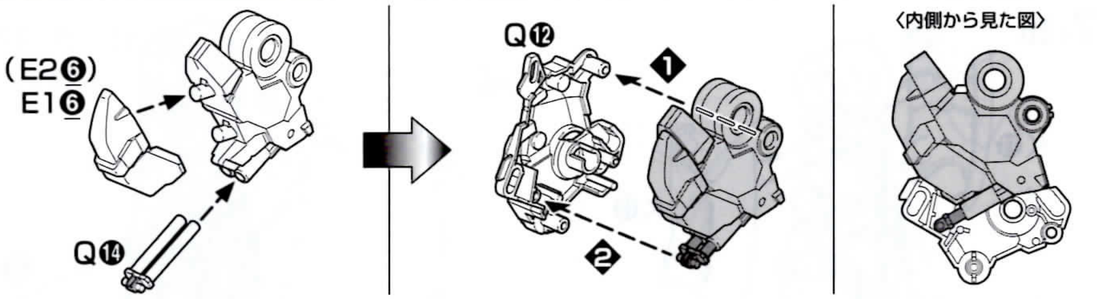
7-11

×2 (2個作る)



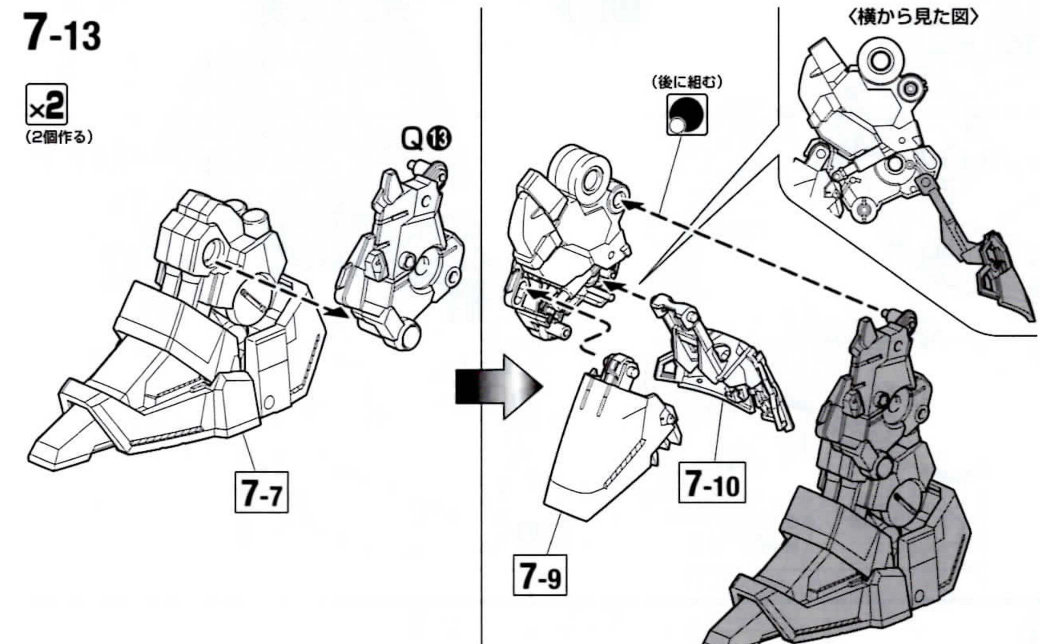
7-12

×2
（2個作る）



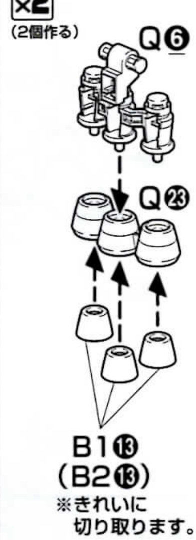
7-13

×2
（2個作る）



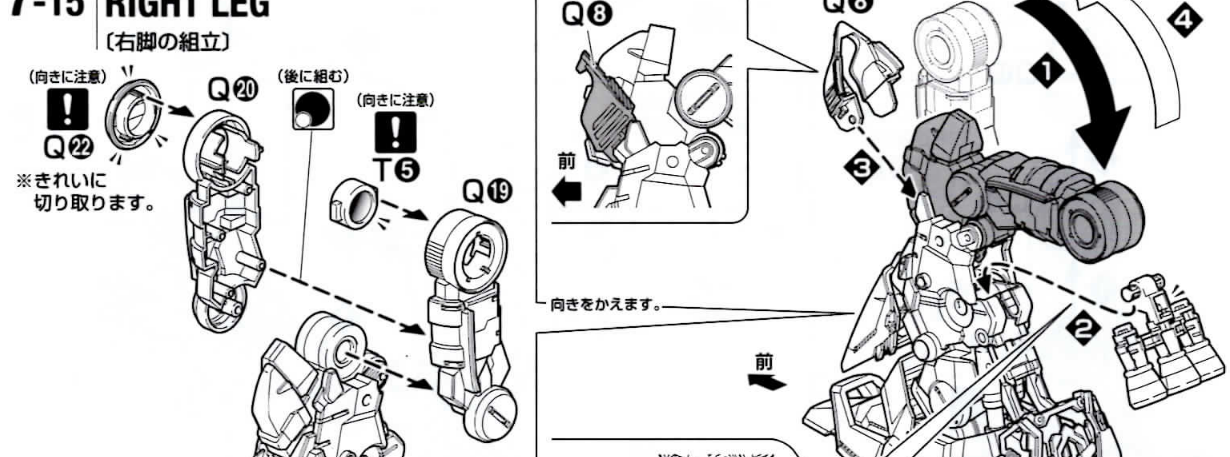
7-14

×2
（2個作る）

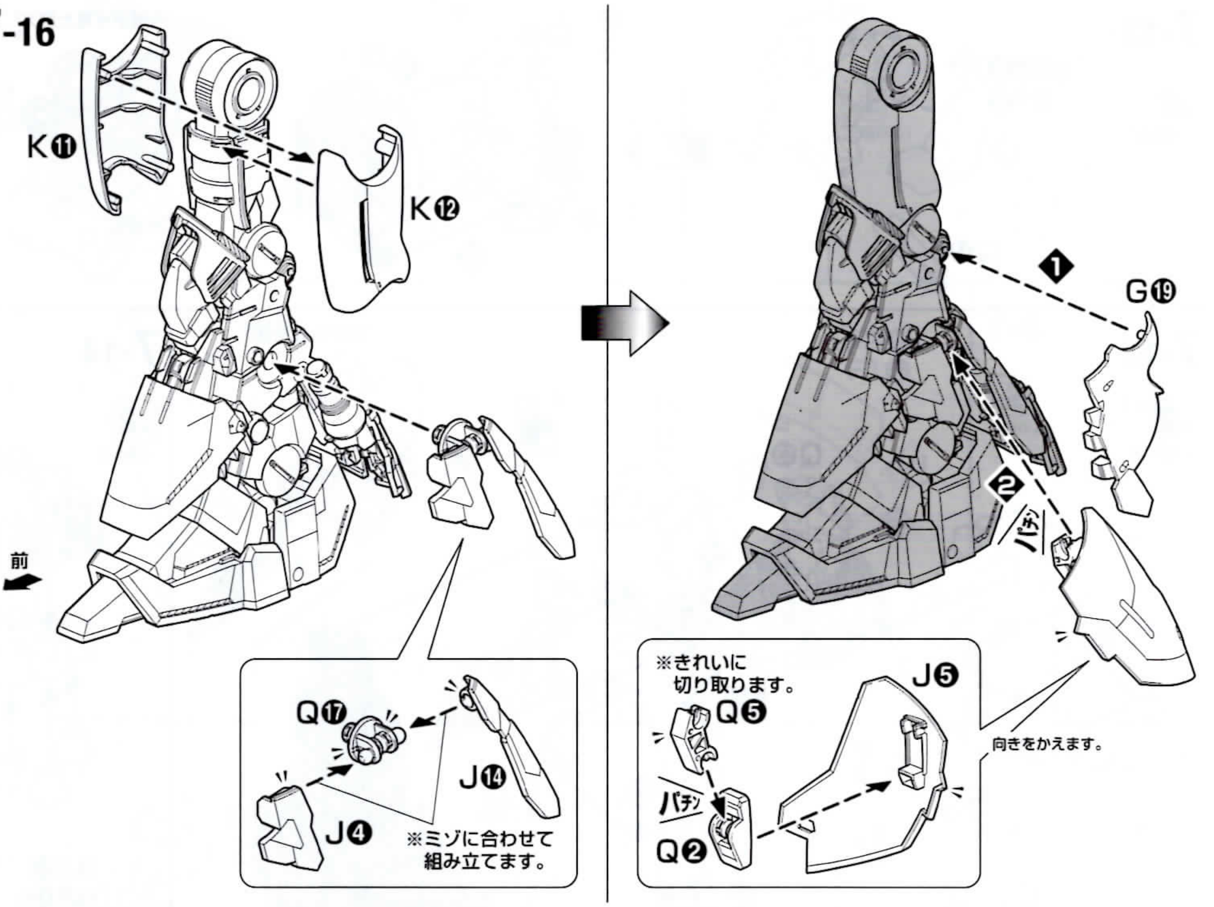


7-15 RIGHT LEG

〔右脚の組立〕

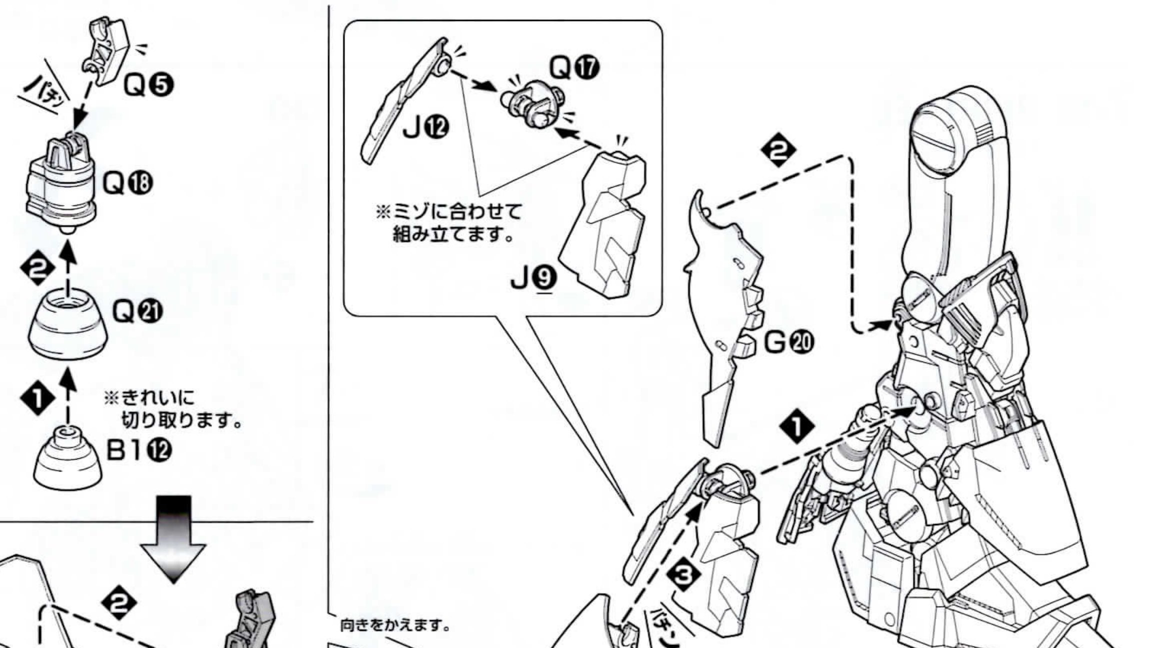


7-16



K⓫
K⓬
前
Q⓱
J⓮
J❹
※ミゾに合わせて
組み立てます。
❶
G⓳
❷
パチン
※きれいに
切り取ります。
Q❺
J❺
パチン
Q❷
向きをかえます。

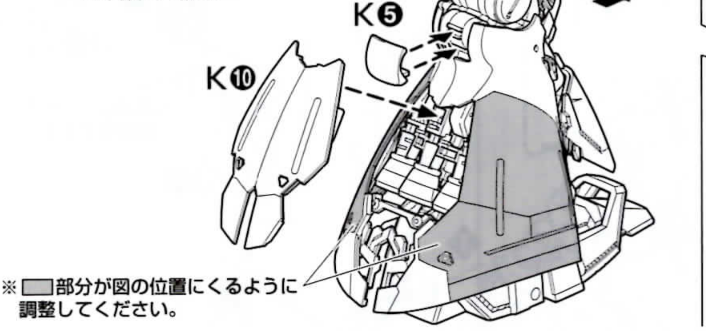
7-17

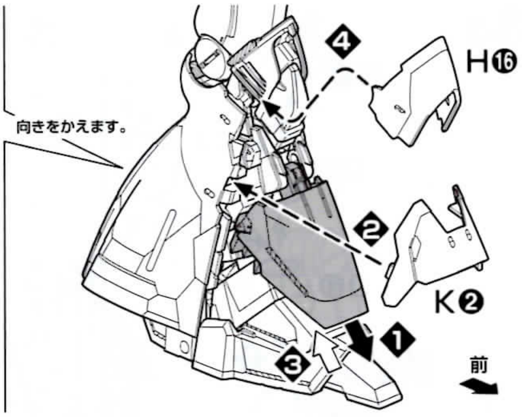


パチン
Q❺
Q⓲
❷
Q㉑
❶
※きれいに
切り取ります。
B1⓬
J❼
❷
❶
A1❼
Q⓱
J⓬
※ミゾに合わせて
組み立てます。
J❾
❷
G⑳
❶
❸
パチン
向きをかえます。

7-18 COMPLETION

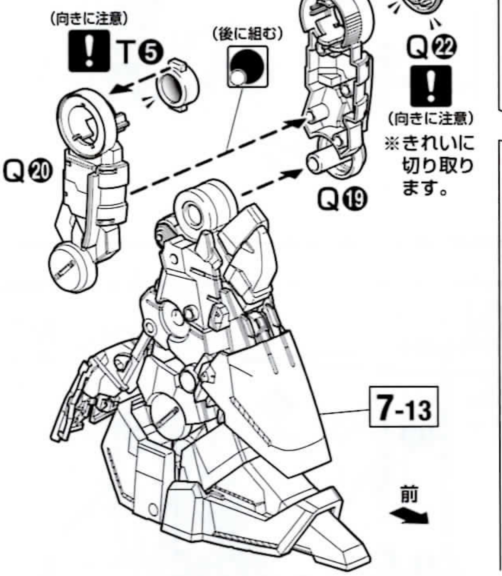
〔右脚の完成〕

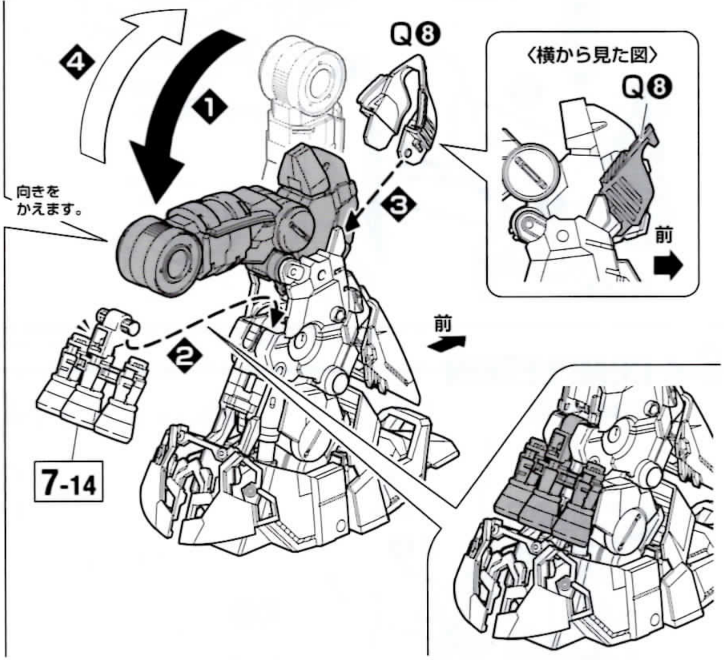




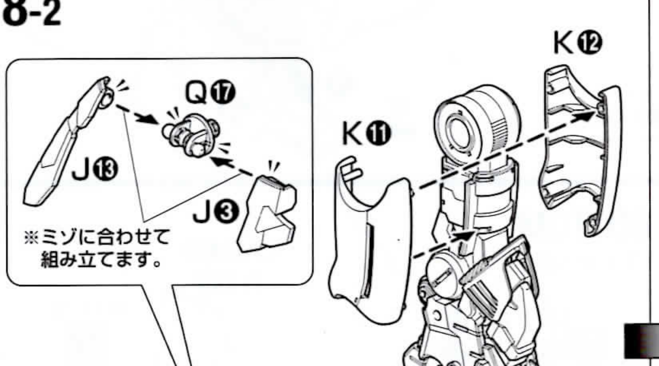
8-1 LEFT LEG

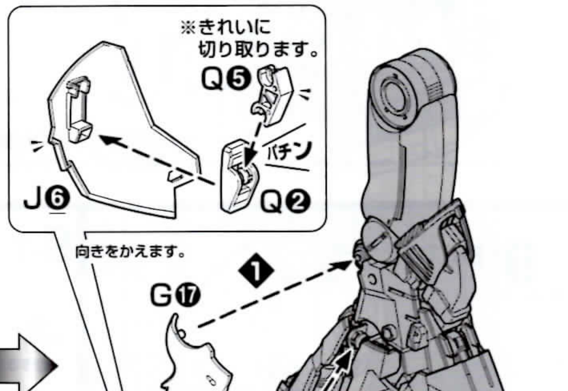
〔左脚の組立〕



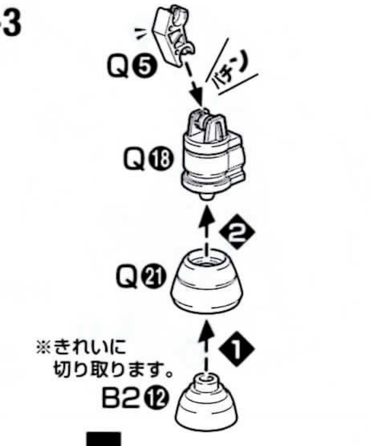


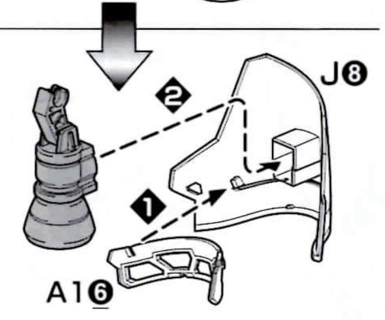
8-2

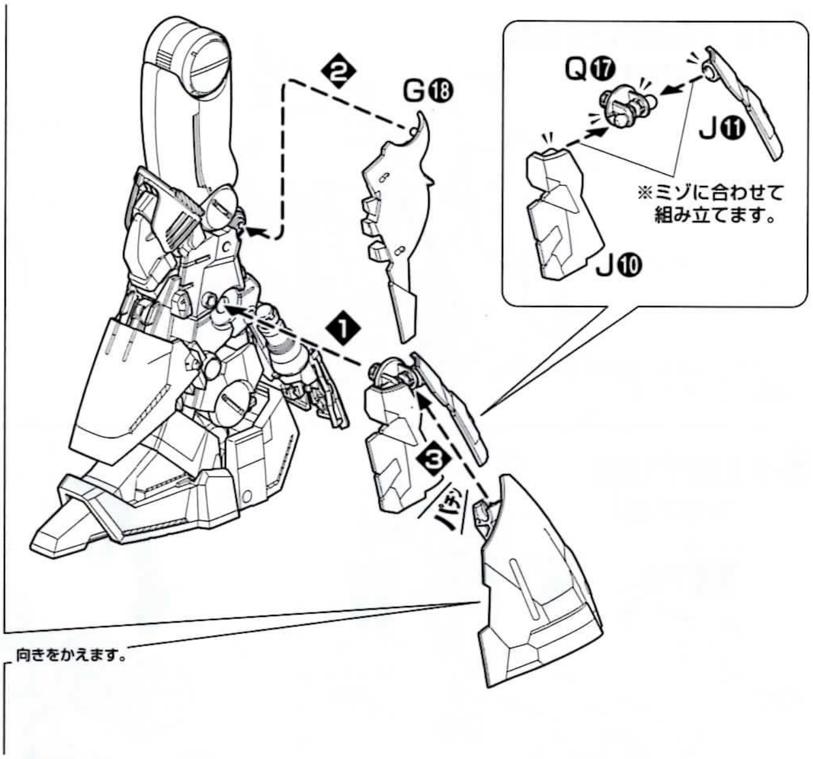




8-3

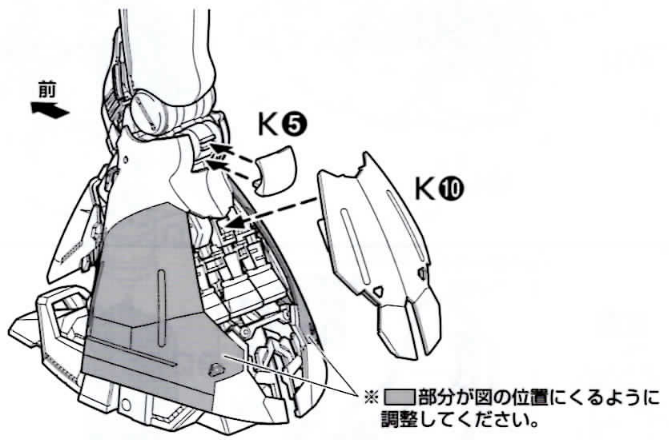


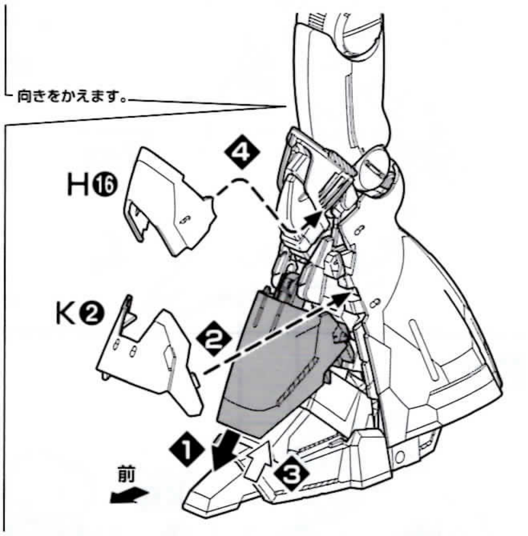




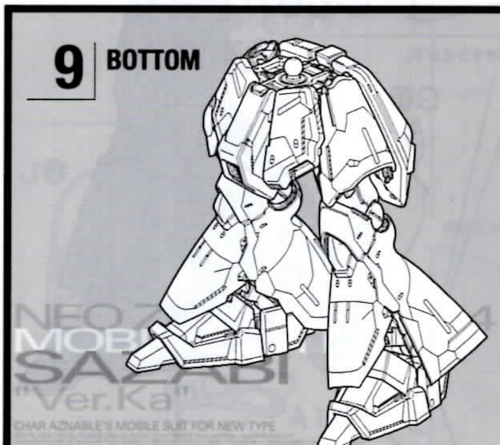
8-4 COMPLETION

〔左脚の完成〕



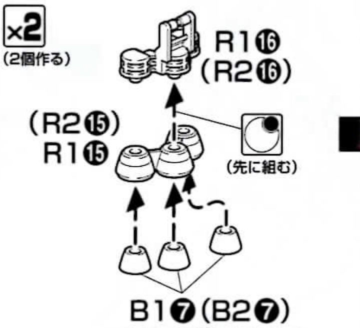


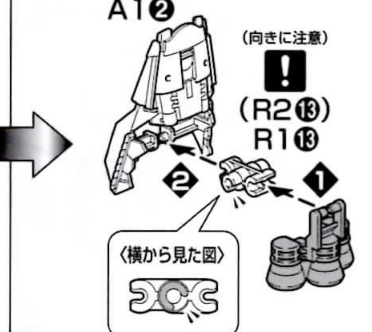
9 BOTTOM



9-1 BOTTOM

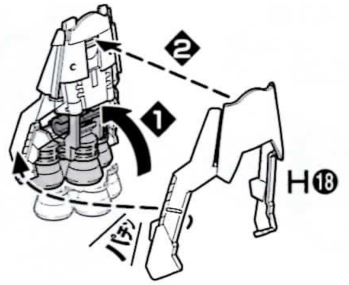
〔下半身の組立〕

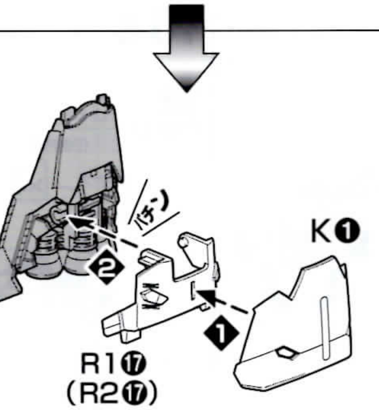




9-2

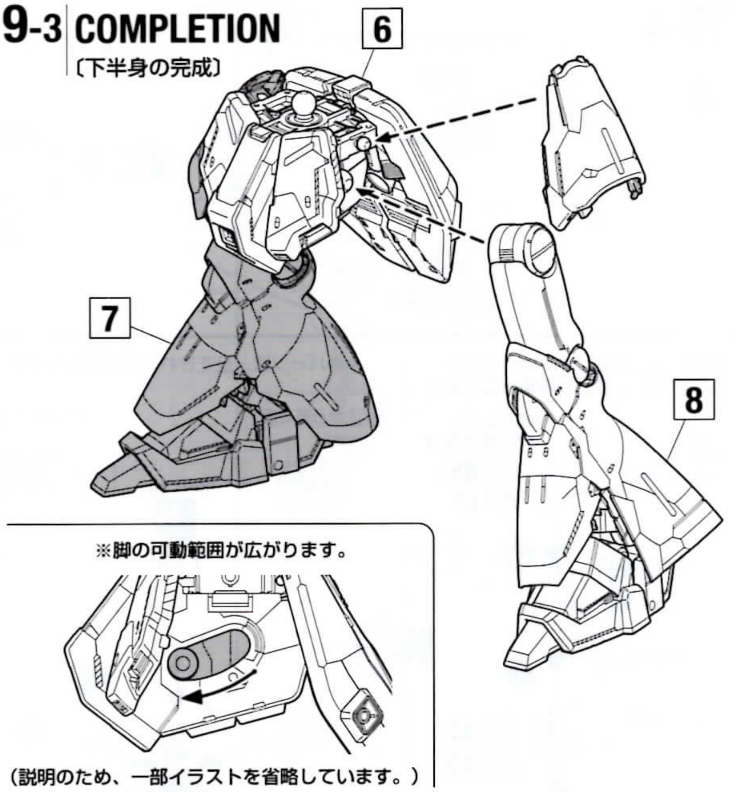
×2
(2個作る)



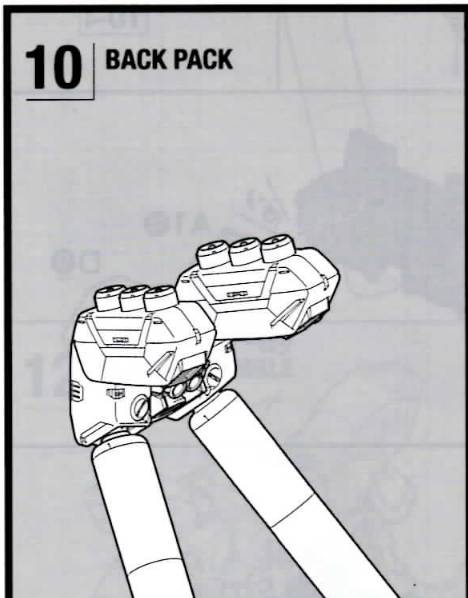


9-3 COMPLETION

〔下半身の完成〕



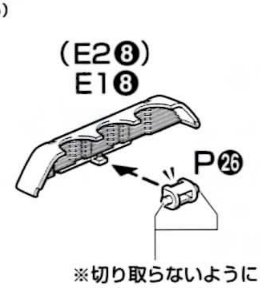
10 BACK PACK



10-1 BACK PACK

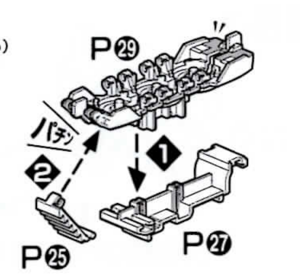
〔バックパックの組立〕

×4
(4個作る)



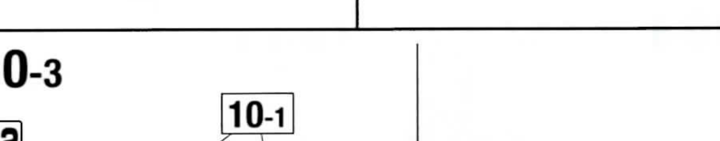
10-2

×2
(2個作る)



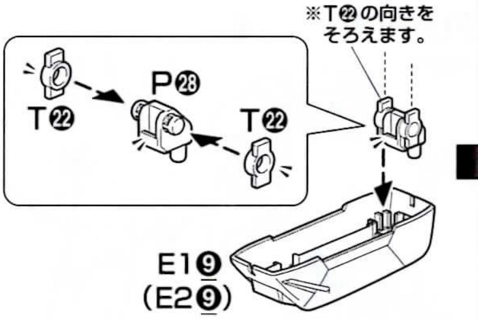
10-3

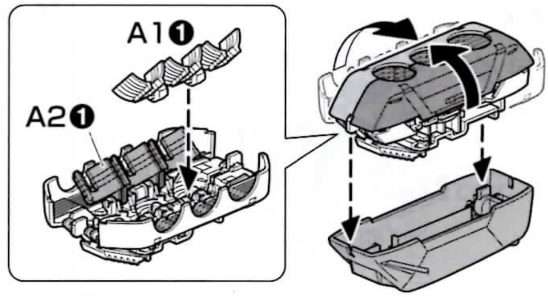
×2
(2個作る)



10-4

×2
(2個作る)

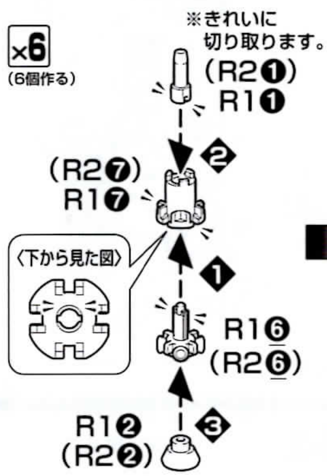




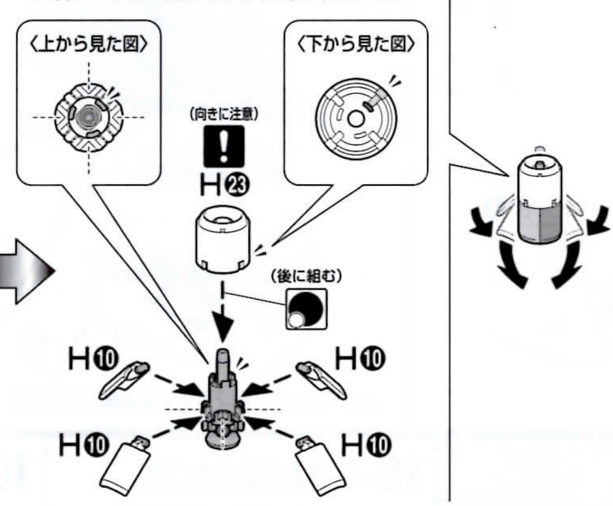
10-5

※各パーツは、向きに
注意して組み立てます。

×6
(6個作る)

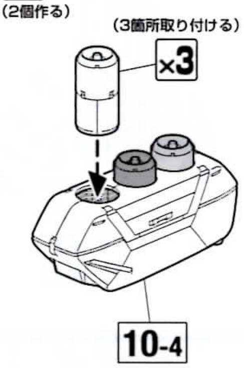


※各パーツは、全てきれいに切り取ります。

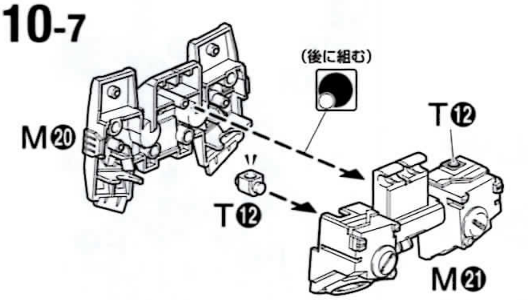


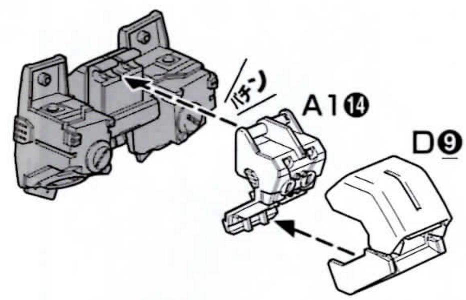
10-6

×2
(2個作る)

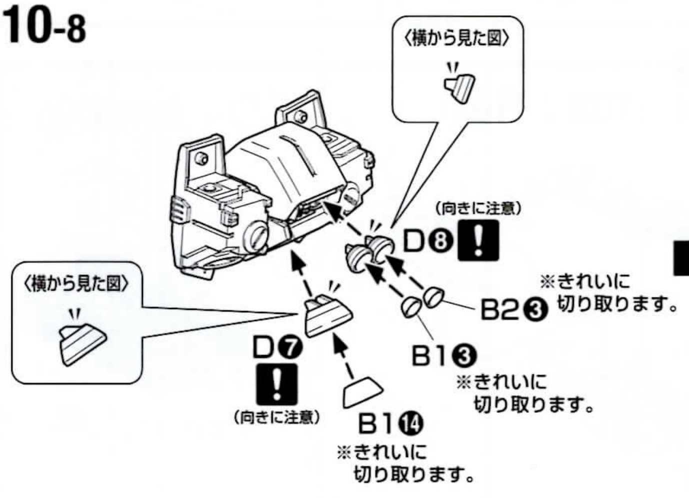


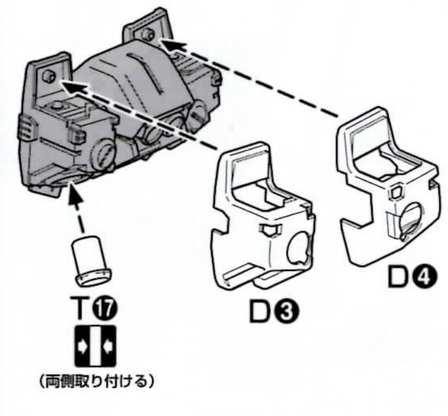
10-7





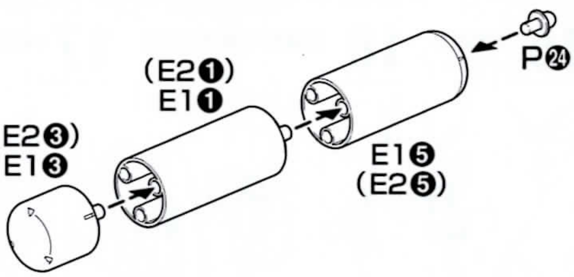
10-8



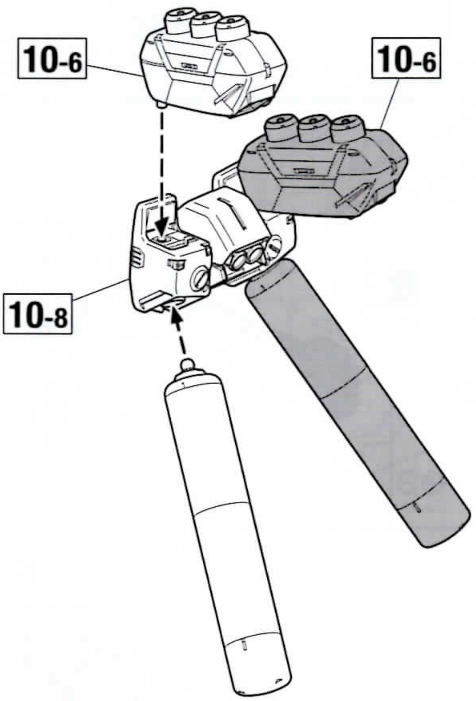


10-9

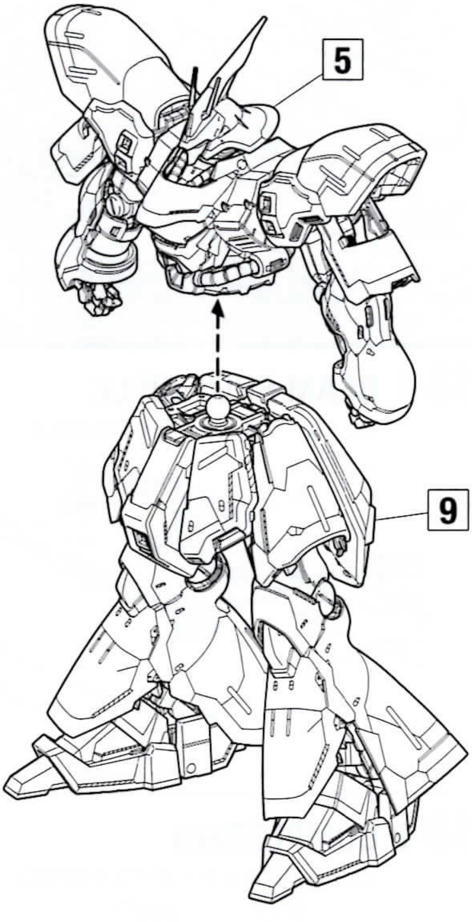
×2
(2個作る)



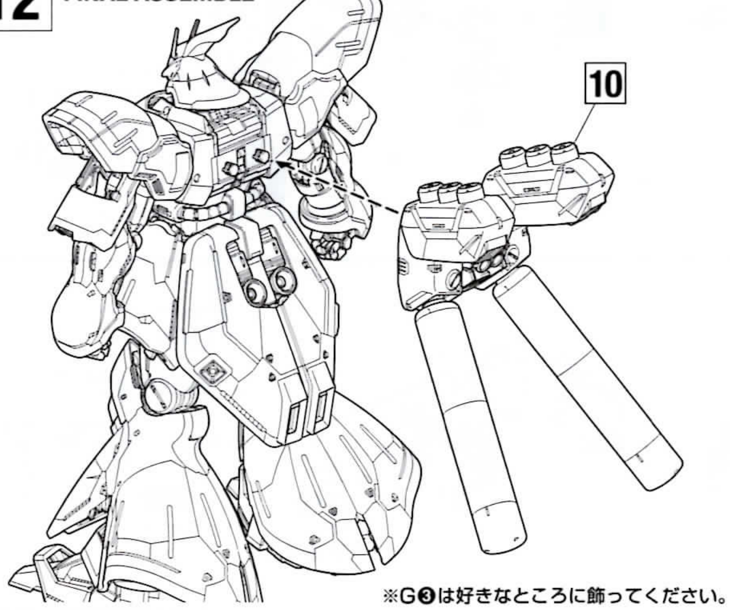
10-10 COMPLETION
〔バックパックの完成〕



11 BODY ASSEMBLE

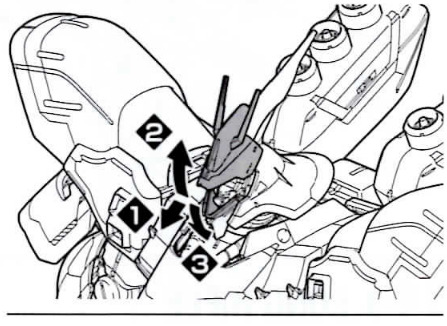


12 FINAL ASSEMBLE

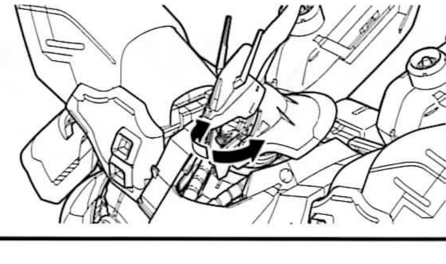


※G❸は好きなところに飾ってください。

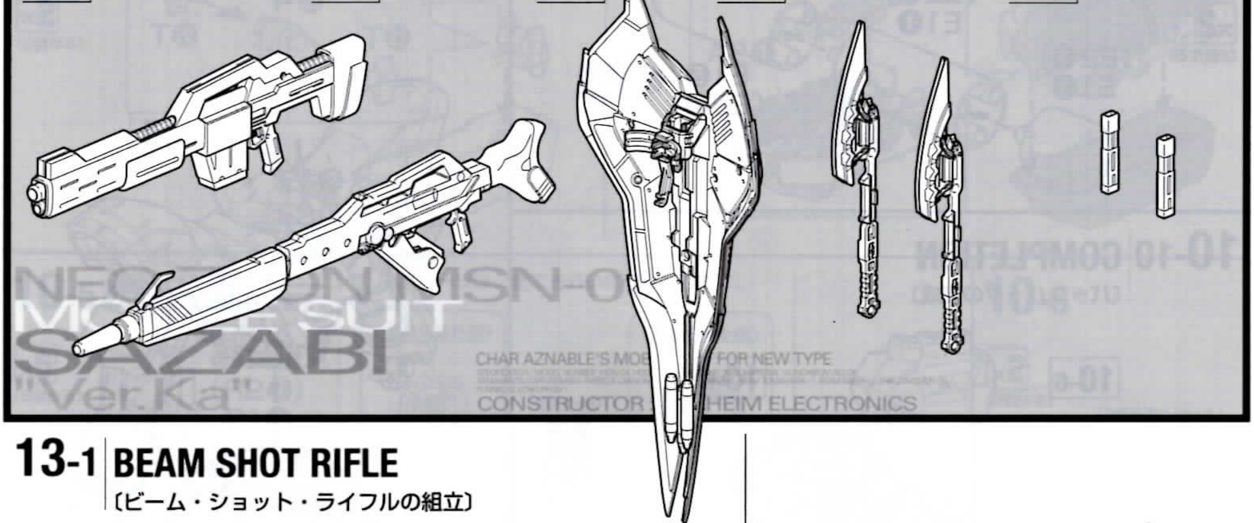
〈コクピットの開き方〉



〈モノアイの可動〉

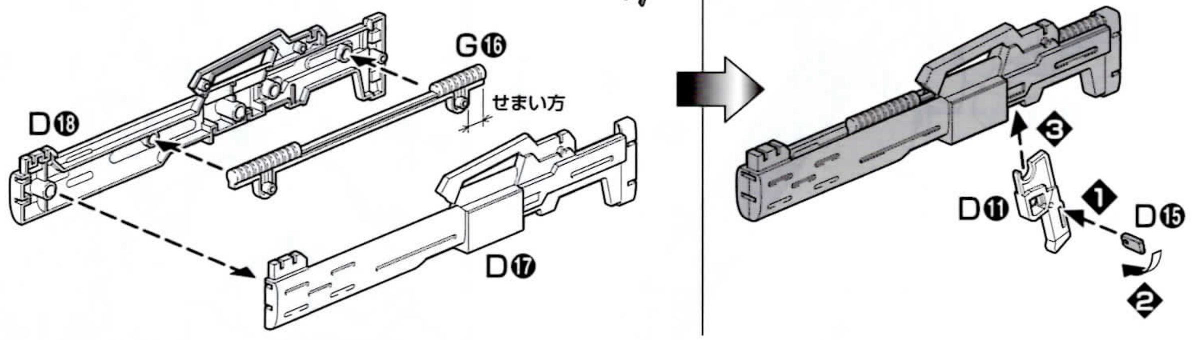


13 BEAM SHOT RIFLE **14** LONG RIFLE **15** SHIELD **16** BEAM TOMAHAWK **17** BEAM SABER



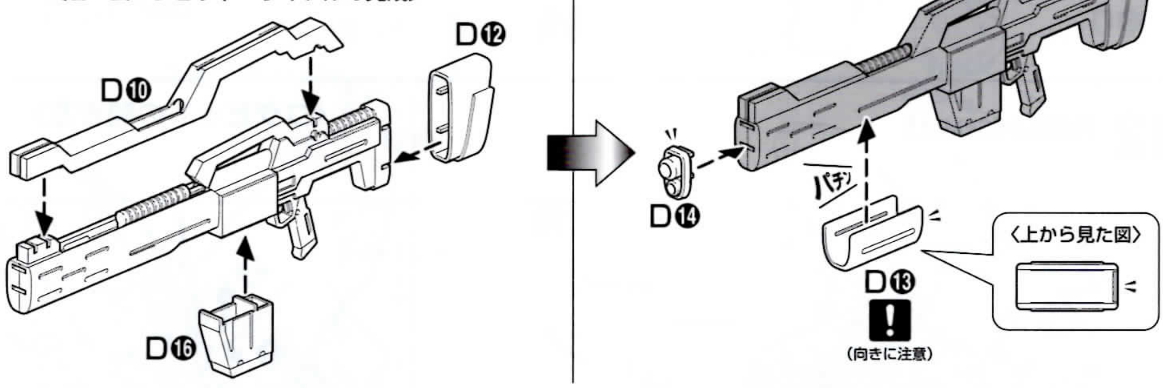
13-1 BEAM SHOT RIFLE

〔ビーム・ショット・ライフルの組立〕



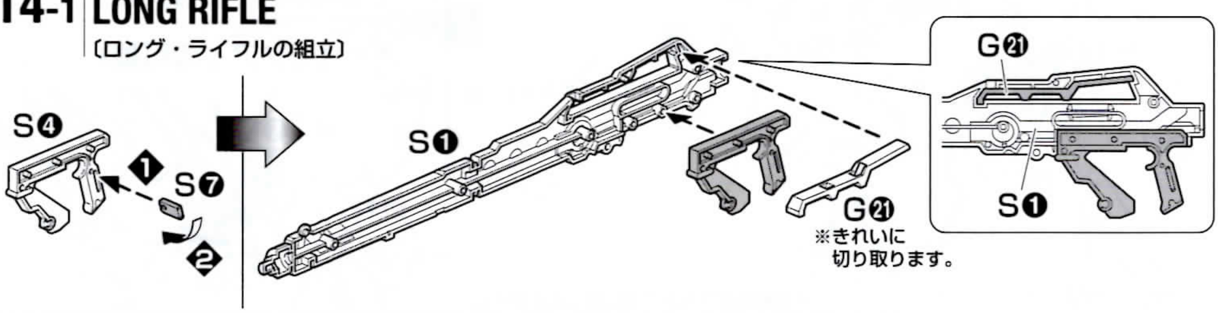
13-2 COMPLETION

〔ビーム・ショット・ライフルの完成〕

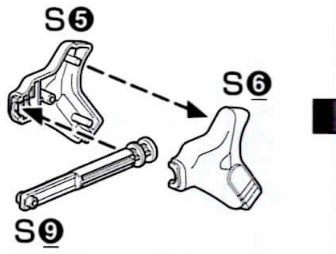


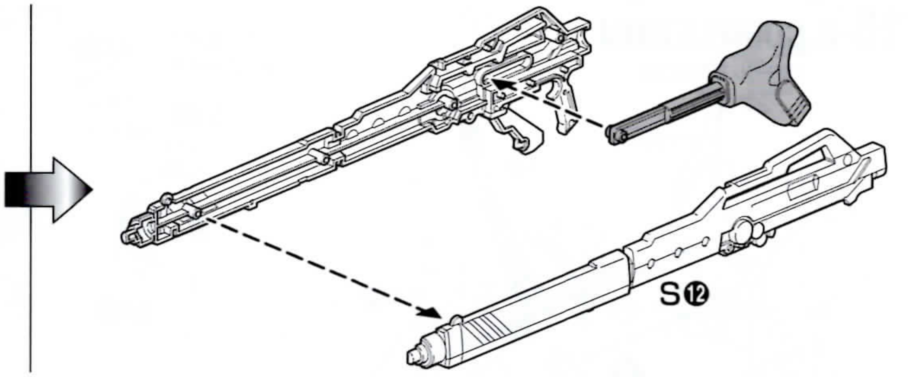
14-1 LONG RIFLE

〔ロング・ライフルの組立〕



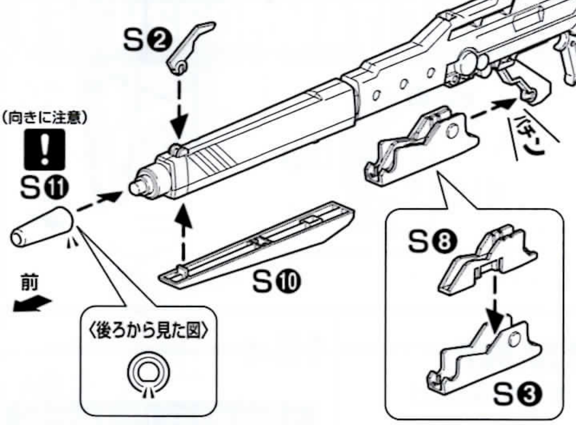
14-2

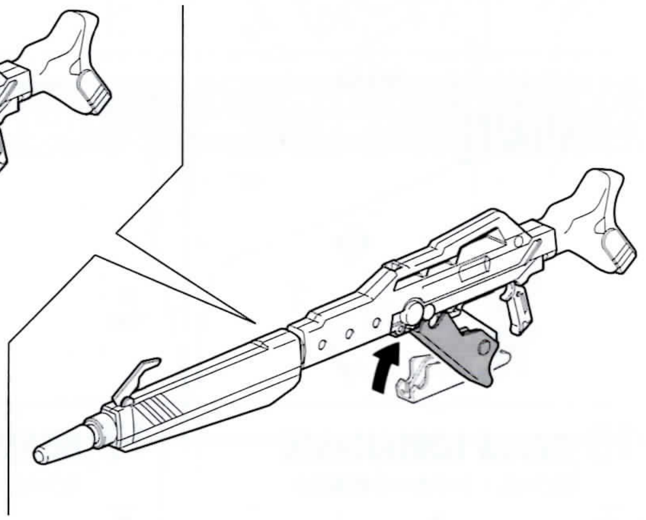




14-3 COMPLETION

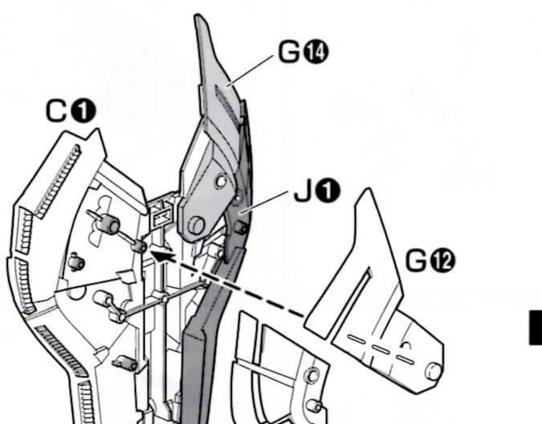
〔ロング・ライフルの完成〕

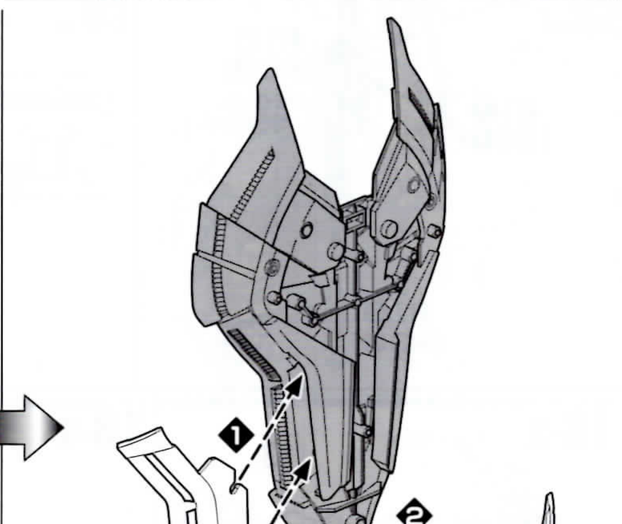




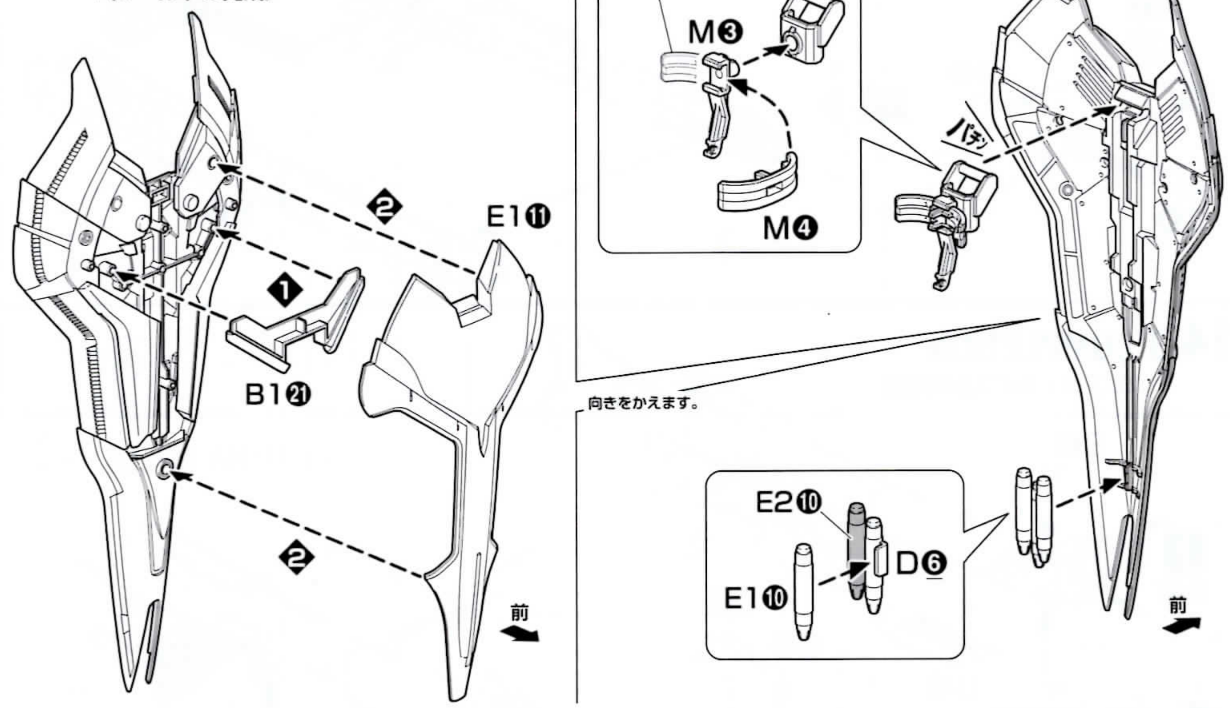
15-1 SHIELD

〔シールドの組立〕



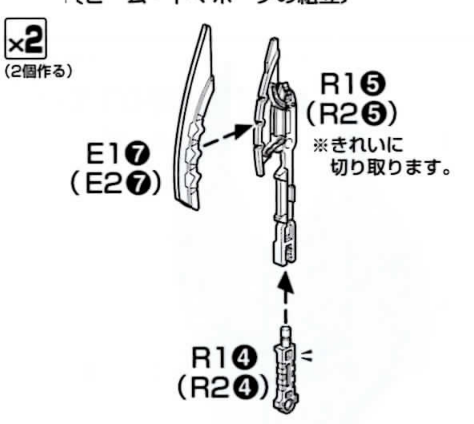


15-2 COMPLETION
〔シールドの完成〕



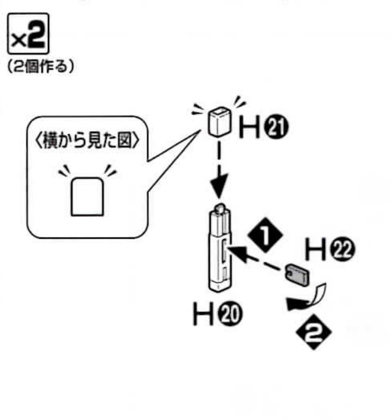
16 BEAM TOMAHAWK
〔ビーム・トマホークの組立〕

×2
(2個作る)



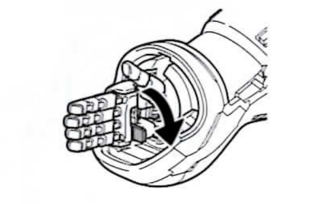
17 BEAM SABER
〔ビーム・サーベルの組立〕

×2
(2個作る)

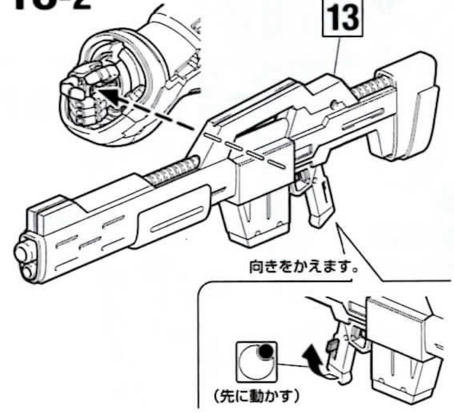


18-1

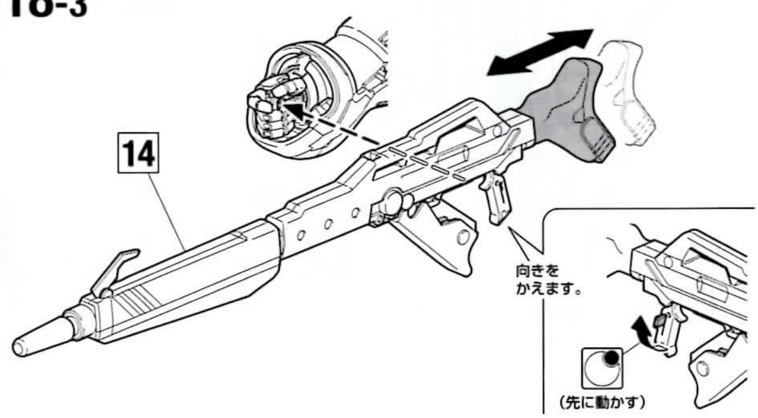
※各種武器を手に持たせるときは、
必ずこの作業を行ってください。



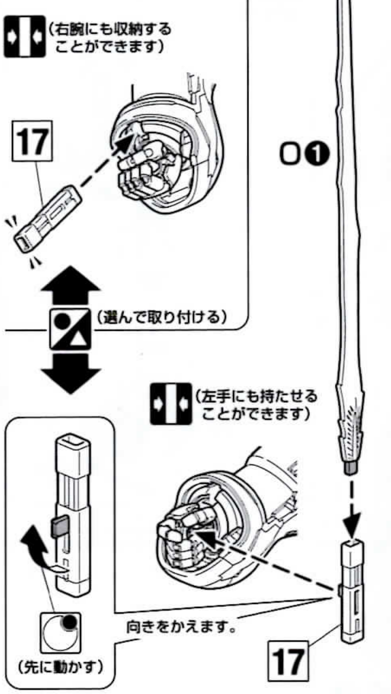
18-2



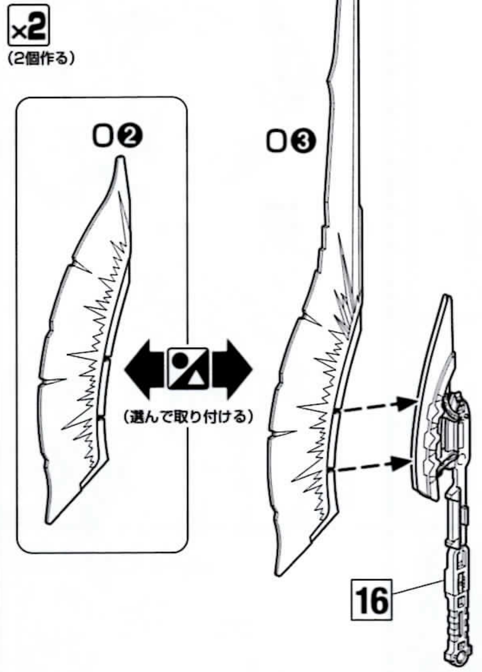
18-3



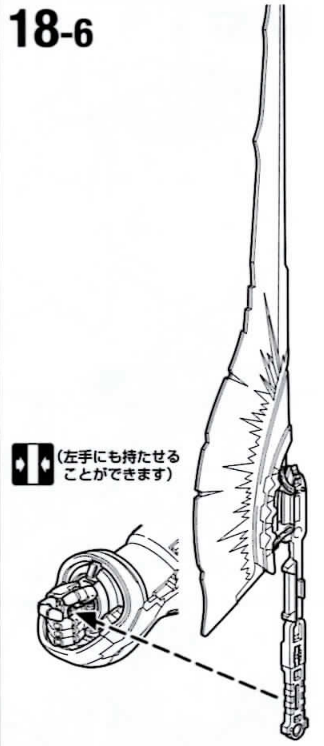
18-4



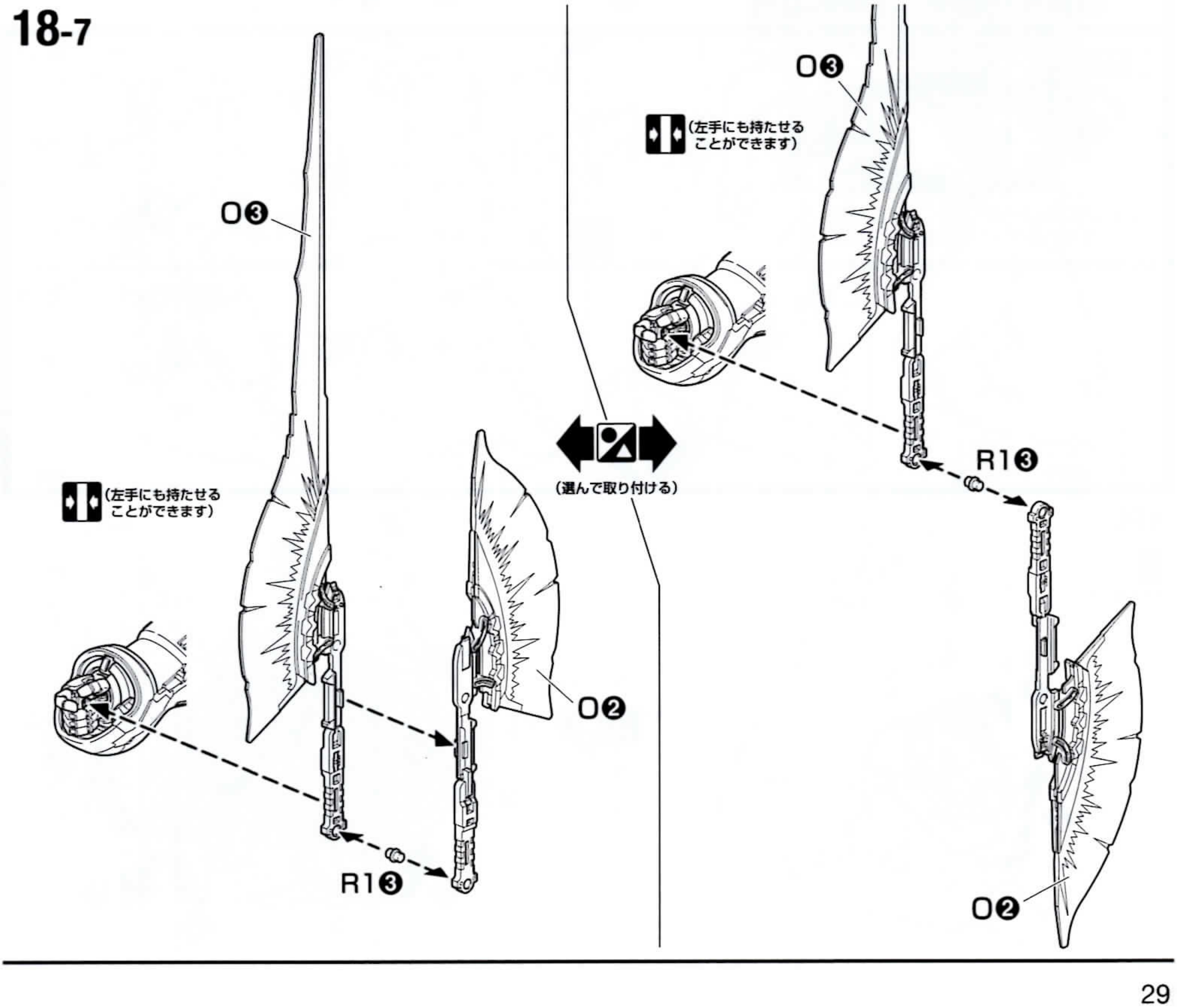
18-5



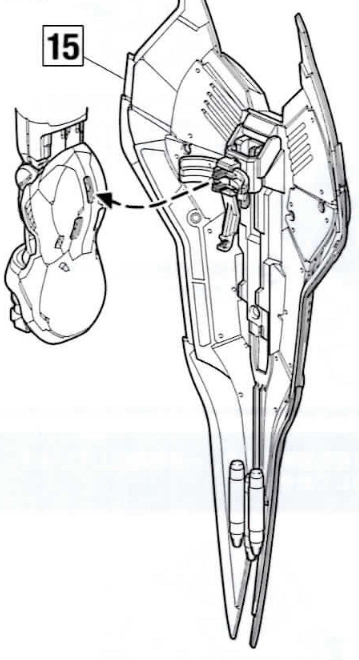
18-6



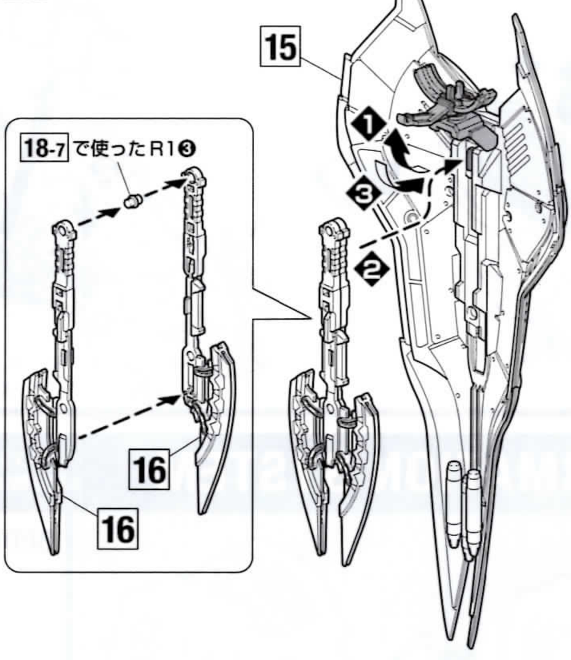
18-7



19

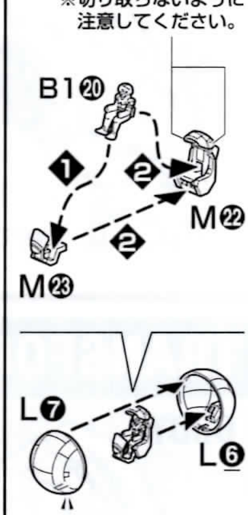


20



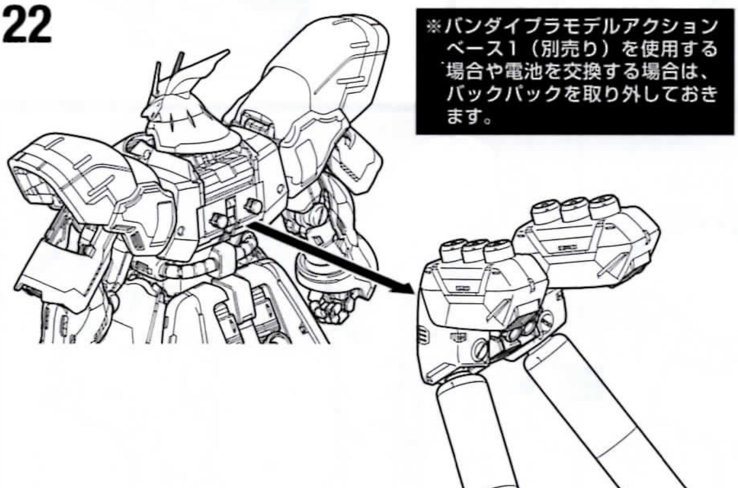
21 OPTION

〔コクピットブロックの組立〕



22

※バンダイプラモデルアクションベース1（別売り）を使用する場合や電池を交換する場合は、バックパックを取り外しておきます。





※バンダイプラモデルアクションベース1の取扱説明書では✕印対応になっているBA3-C⑩を使用してディスプレイできます。未組立のバンダイプラモデルアクションベース1（別売り）をご用意ください。

BA3-C⑩
バンダイプラモデルアクションベース1（別売り）付属

※バンダイプラモデルアクションベース1（別売り）を使用してディスプレイできます。

〈電池の交換〉

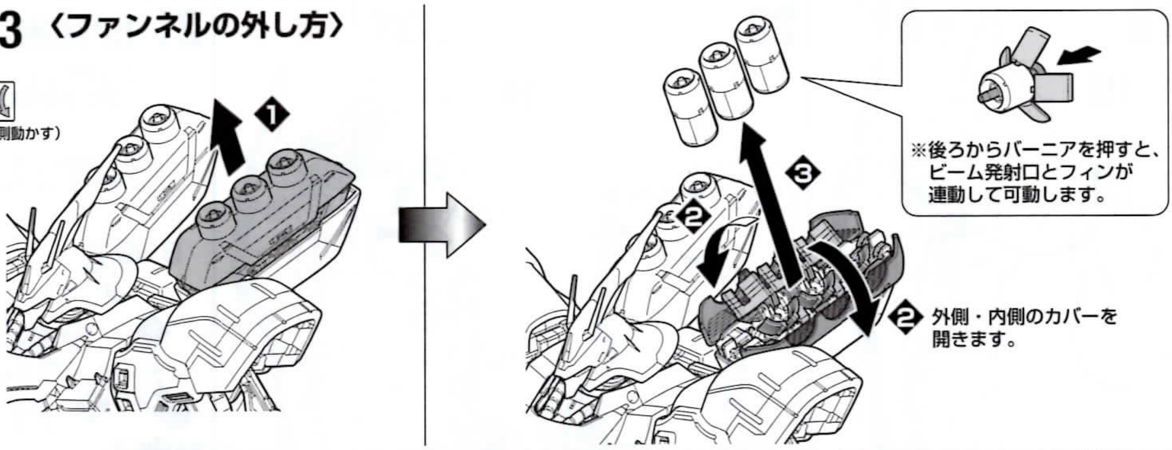


※頭部を外すときは、▇部から取り外してください。

※電池の交換はガンプラ用LEDユニット（緑）（別売り）の組立説明書を参照してください。

23 〈ファンネルの外し方〉

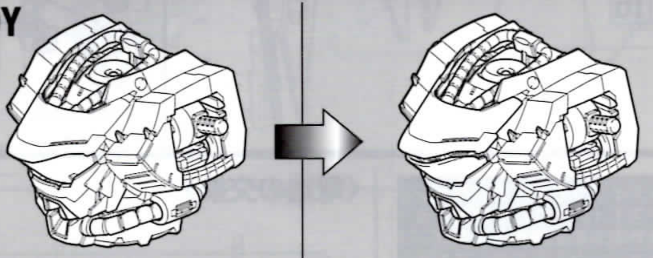
(両側動かす)



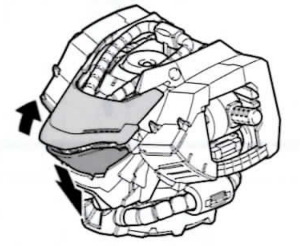
TRANSFORMATION SYSTEM

※イラストは変形説明のため、一部簡略化しています。
※武器類は外しておきます。

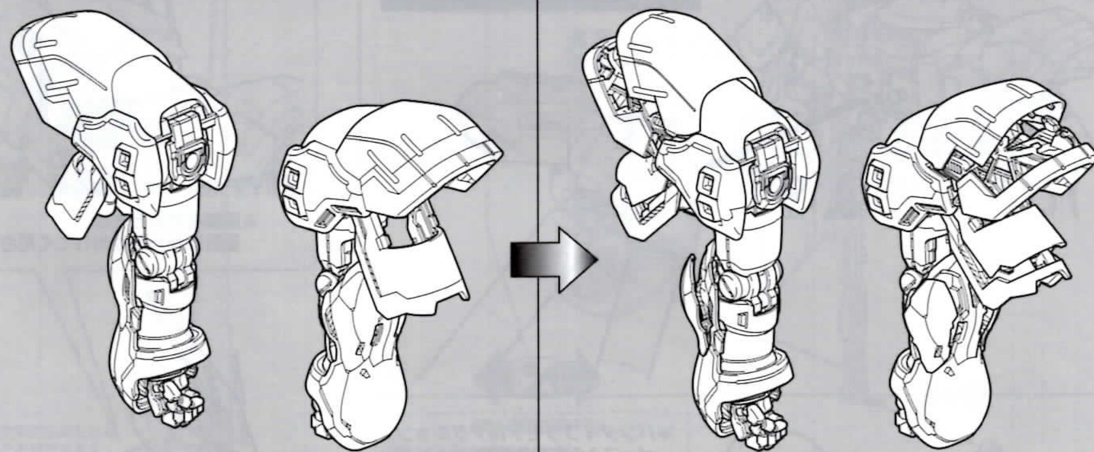
BODY



BODY



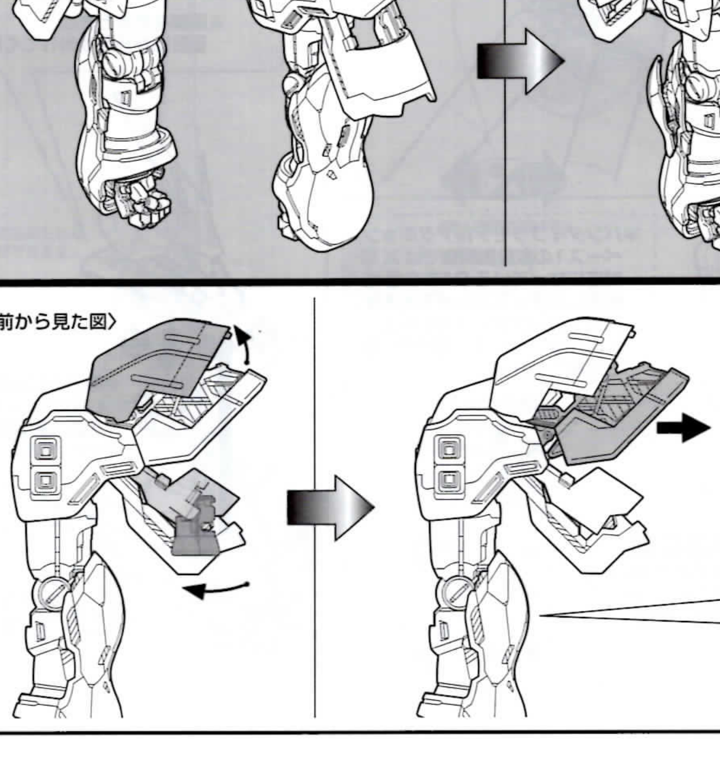
ARM



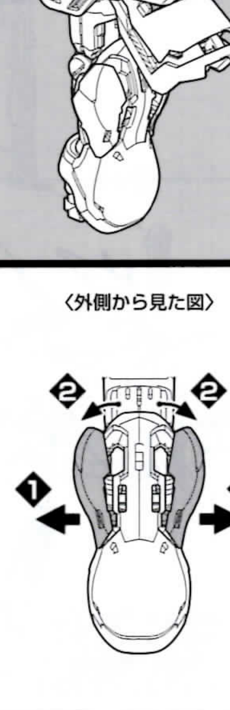
ARM

(両腕動かす)

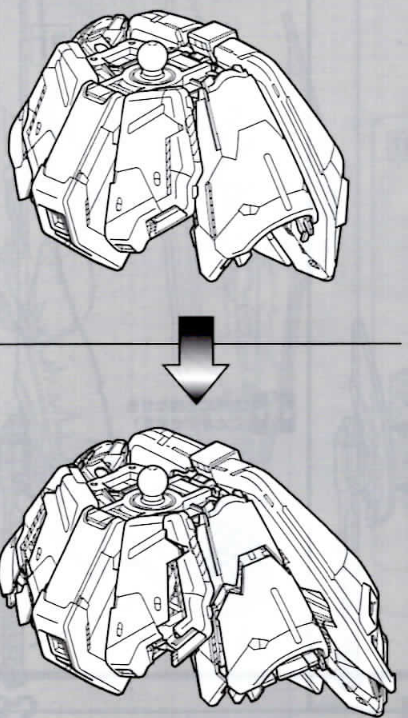
〈前から見た図〉



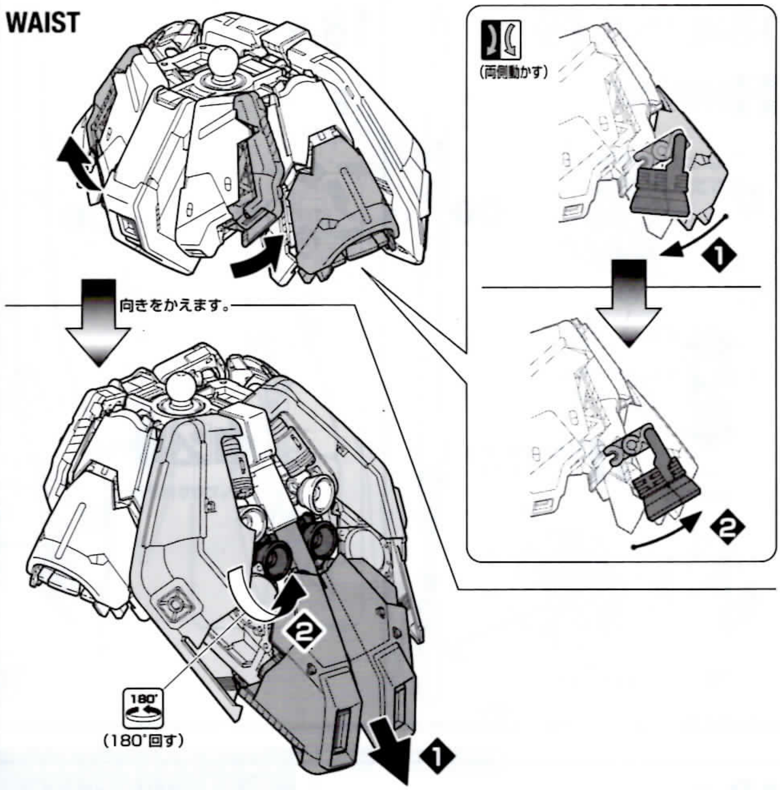
〈外側から見た図〉



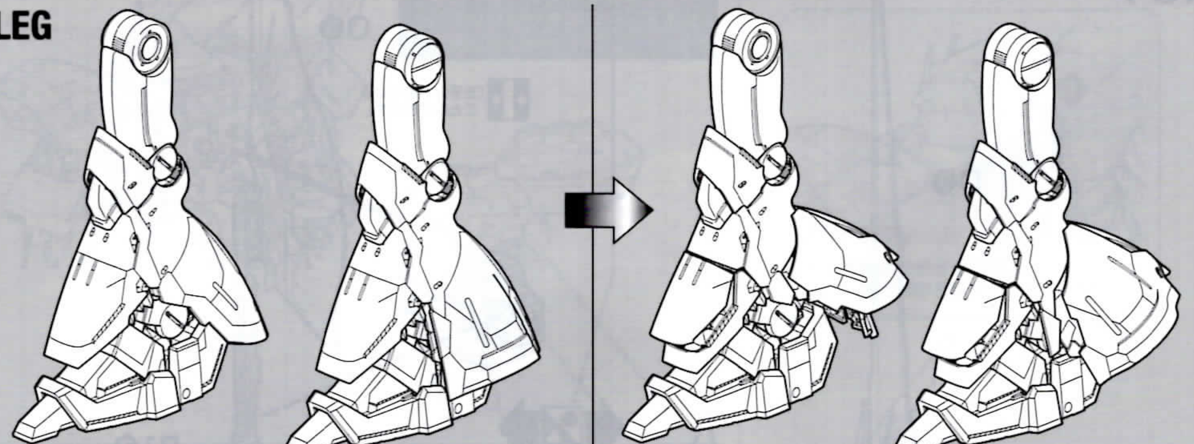
WAIST



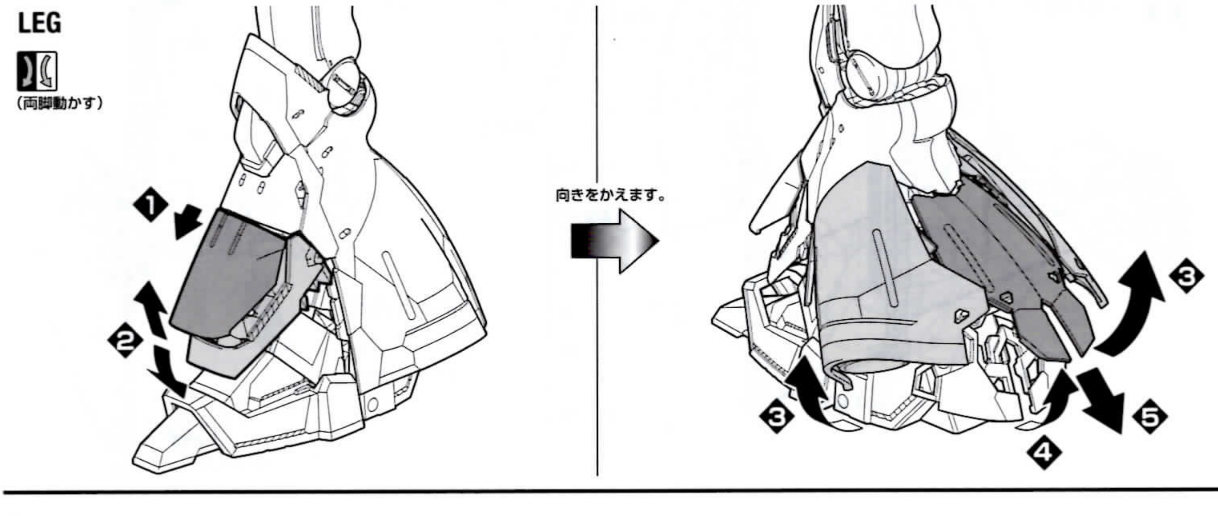
WAIST



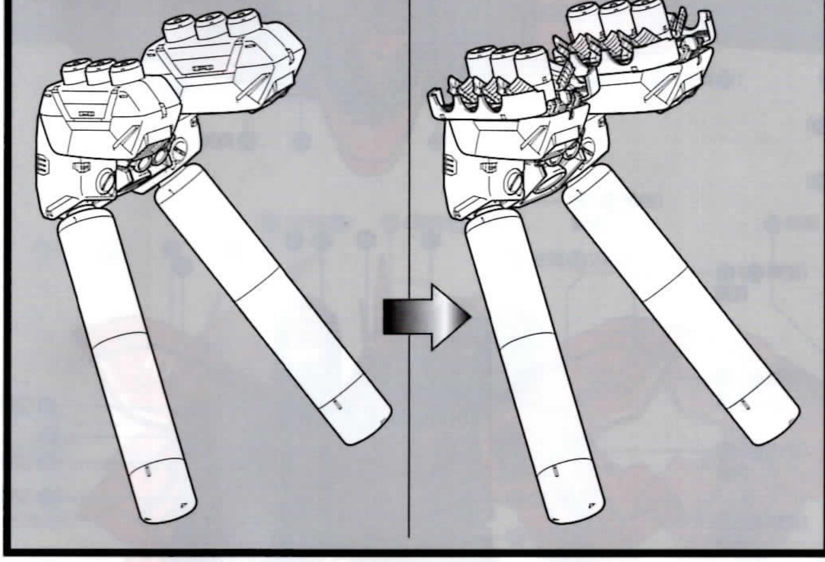
LEG



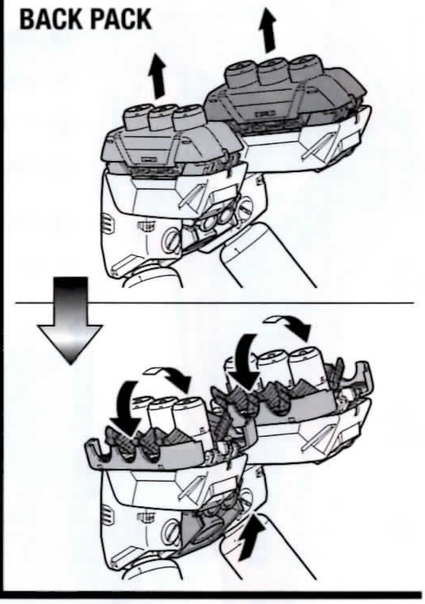
LEG



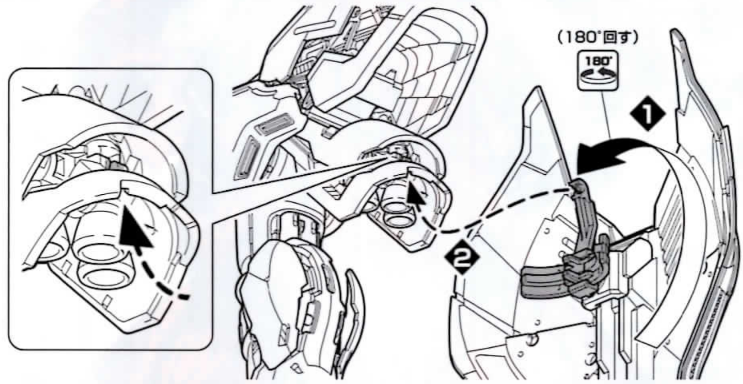
BACK PACK



BACK PACK



〈肩カバーアーマーにシールドを取り付ける場合〉



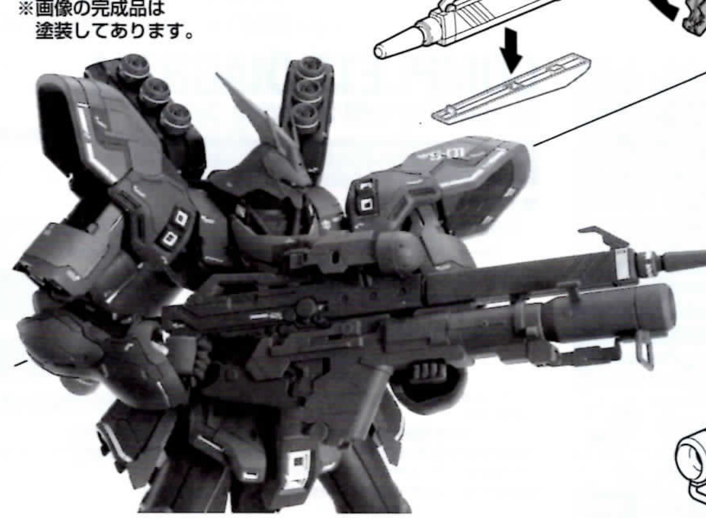


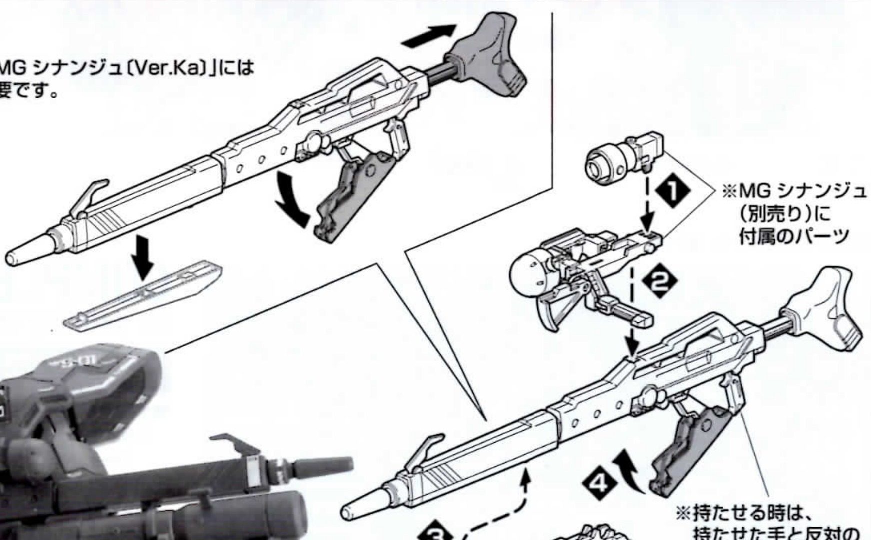
※説明のため、一部画像を省略しています。
※画像の完成品は塗装してあります。

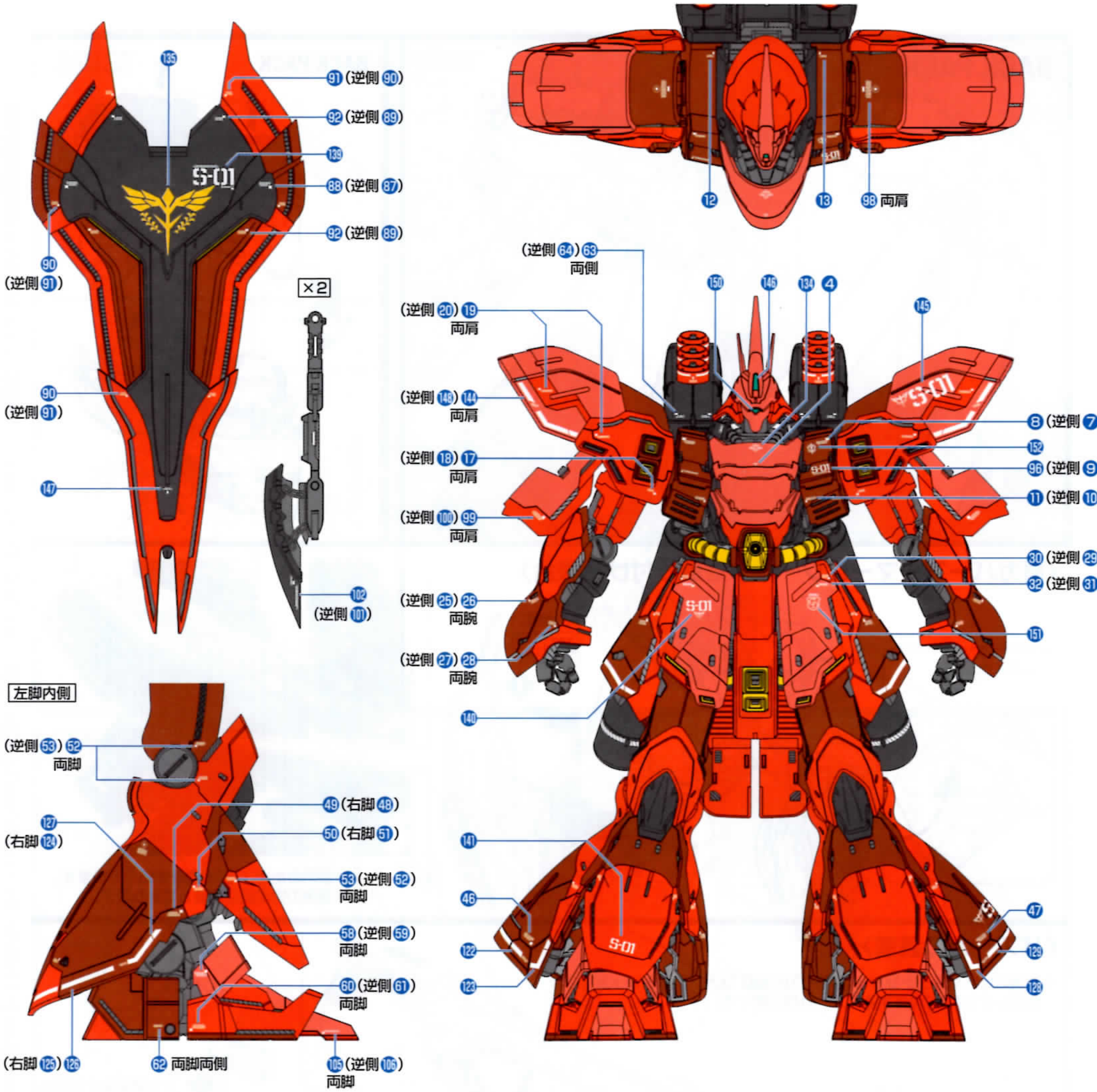
〈バズーカの装着〉

※再現には、「MG シナンジュ(別売り)」(「MG シナンジュ〔Ver.Ka〕」には付属しません)に付属するバズーカが必要です。

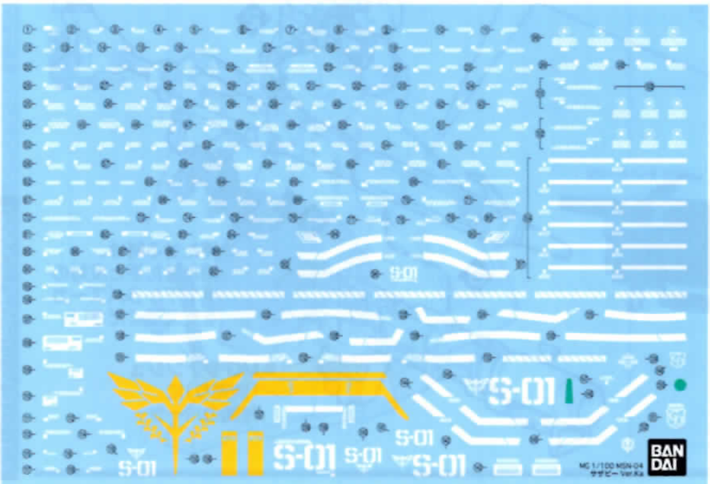
※画像の完成品は
塗装してあります。







■水転写式デカール 1～152



COMPLETE DIAGRAM
for painting and applying decals

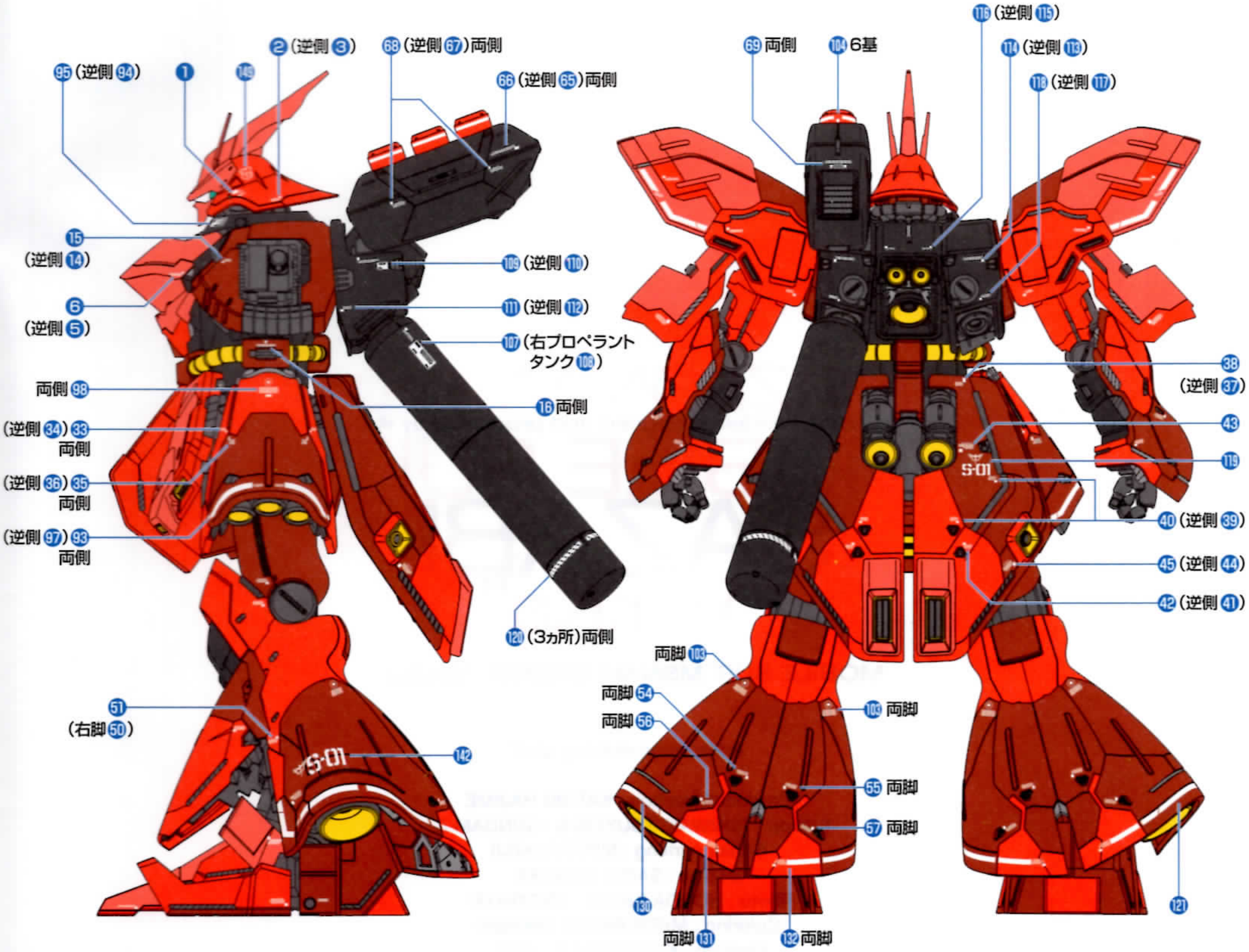
この水転写式デカールはプラモデルオリジナルのものです。
貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。

■水転写式デカールの貼り方

1. 転写するマークより大きめに切り出し、ぬるま湯に3秒程度浸し、ピンセットで引き上げます。デカールのいらない部分は切り取っておきましょう。
2. 台紙からデカールがすべるようになるまで待ち、表を上にしてすべらせて貼ってください。
3. 綿棒などで押して、気泡を取ってください。
乾くまでは、手を触れないでください。

※デカールを貼る部分のキットパーツの油分を、あらかじめ中性洗剤などでふきとると一層よく密着します。
※デカールを貼るための道具(ハサミ、ピンセット、綿棒など)は別にご用意ください。
※複雑な凸凹形状等に貼るデカールには、密着させるために別売りの水転写式デカール用軟化剤や水転写式デカール用接着剤をご使用ください。
※余ったデカールは好みに応じてご使用ください。





COLOR CHART
used paints and mixture ratio

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。
※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
※ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。
※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

サザビー

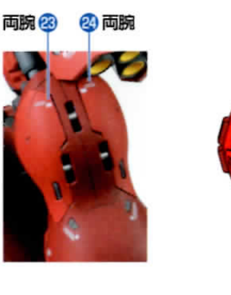
- 【明るいレッド部の塗装色】シャインレッド(90%)+ホワイト(5%)+オレンジ(5%)+グレー少量
- 【レッド部の塗装色】シャインレッド(95%)+あずき色(5%)+ホワイト少量+グレー少量
- 【暗いレッド部の塗装色】あずき色(65%)+シャインレッド(35%)+ホワイト少量+グレー少量
- 【イエロー部の塗装色】オレンジイエロー(60%)+ホワイト(30%)+イエロー(10%)
- 【ブラック部の塗装色】ブラック(100%)+ホワイト少量
- 【関節などグレー部の塗装色】グレー(90%)+ブラック(10%)
- 【武器などグレー部の塗装色】グレー(85%)+ブラック(15%)
- 【シルバー部の塗装色】シルバー(100%)+ブラック極少量

シャア・アズナブル

- 【肌などの塗装色】ホワイト(50%)+薄茶色(50%)
- 【髪などの塗装色】ホワイト(95%)+薄茶色(5%)+イエロー少量
- 【服などレッド部の塗装色】モンザレッド(100%)+イエロー少量+ホワイト少量
- 【パイロットスーツなどの塗装色】オレンジイエロー(40%)+ホワイト(30%)+イエロー(30%)
- 【ブーツなどブラウン部の塗装色】レッドブラウン(100%)

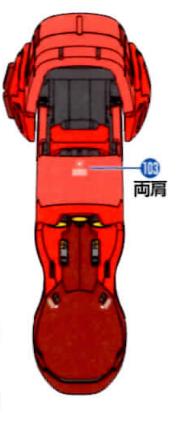
CHAR AZNABLE





腕内側





※ここに掲載している情報は2013年12月現在のものです。

NEO ZEON MSN-04

Gundam models Designed and produced by Ka.

MOBILE SUIT SAZABI "Ver.Ka"

MOBILE SUIT MSN-04 SAZABI "Ver.Ka"

Instruction making staff

Produce/direction : KATOKI HAJIME
Edition : ISHIWAKI TSUYOSHI (GUNDAM A)
Edition/writing : MITARAI KOJI
Design : SAITO DAISUKE
Photo : HONDA KEIGO (ENTANIYA)
Coloring : MATSUMOTO TAKASHI
Marking : KONNO YUJI (JAM)